

茨城町集落実態アンケート調査

報告書



平成 28 年 1 月 茨城町

茨城町集落实態アンケート調査

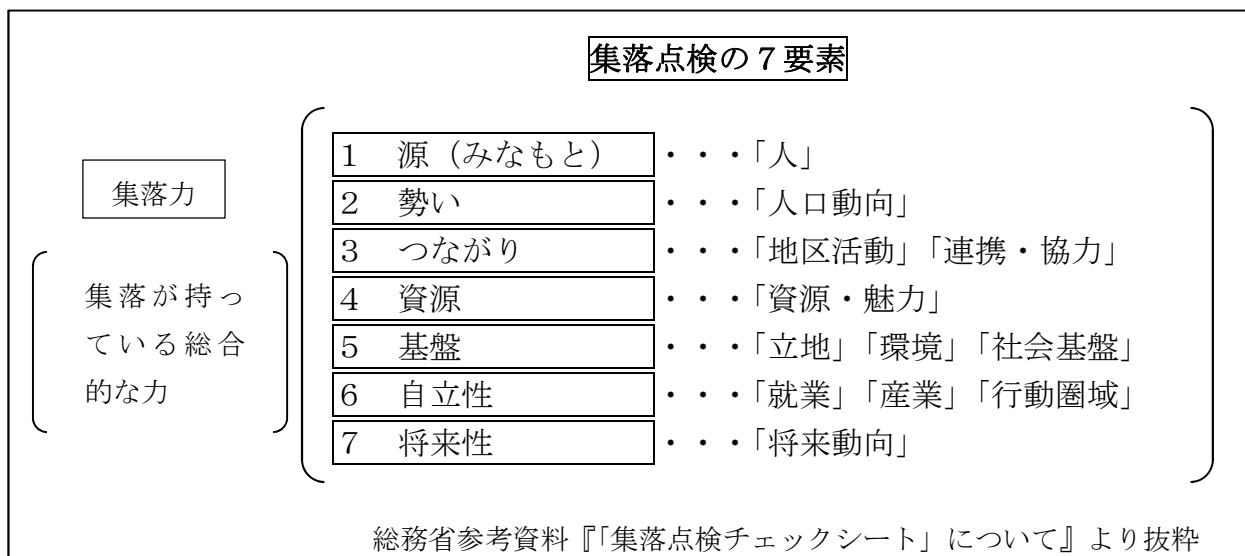
目 次

I アンケート調査の概要	1
1 目 的	1
2 実施方法	1
3 実施期間	1
4 対象及び対象者	1
5 回収状況	1
6 集計結果に関する表記	1
7 地区別の集計	2
II アンケート調査の集計	3
◆ 茨城町の地区別人口及び世帯	3
1 人口及び世帯	3
2 年齢3区分	3
◆1 地区力の源(みなもと)を点検しよう	4
◆2 地区力の勢い(いきおい)を点検しよう	8
◆3 地区力つながりを点検しよう	11
◆4 地区力の資源を点検しよう	24
◆5 地区力の基盤を点検しよう	33
◆6 地区力の自立性を点検しよう	40
◆7 地区力の将来性を点検しよう	44

I アンケート調査の概要

1 目的

人口減少や高齢化が進行しつつある当町において、人口・世帯動向，医療・福祉サービス，生活物資の調達などの生活の状況，清掃活動などの集落内での支え合いの状況，農地・山林・公共施設などの管理状況，集落の有形・無形の地域資源，他の集落との協力の可能性など，地域の集落点検を行い，地域の維持及び活性化につなげることを目的として実施した。



2 実施方法

茨城町集落支援員がアンケートを持参し，2週間程度の期間をあけて，回収した。

3 実施期間

平成27年6月29日（月）から8月31日

4 対象及び対象者

町内の89区において，各区長を対象にアンケート調査を実施した。

5 回収状況

回収率100%（89件／89件）

6 集計結果に関する表記

グラフ中の「n」は，集計対象総数で割合算出する上での母数である。

7 地区別の集計

地区別の傾向を分析するため、大きく5つの地区に分けて集計を行った。

地 区	区
長岡地区	長岡，長岡第二，矢頭東，矢頭西，矢頭北，矢頭中丸原，植農，谷田部，小鶴，三島，前田第一，前田第二，前田東，下郷，上郷，大畑，馬渡，近藤，常井，大山原，瑞穂，明光台団地，桜団地 計23区
川根地区	木部東部，木部西部，木部南部，飯沼，上飯沼，上飯沼南部，下飯沼，下土師新地，下土師宿，下土師仲塚，赤坂，奥谷，桜丘団地，サングリーン奥谷，越安，蕎麦原，駒渡，千勝，野曾，野曾後谷，南栗崎，南川又 計22区
上野合地区	秋葉，南島田，神谷，増山，坂東，鳥羽田，生井沢憲生，生井沢協栄，下雨ヶ谷，上雨ヶ谷，下座，小幡，五里峰，古宿，千貫桜 計15区
沼前地区	小堤，駒場，神宿，本郷，海老沢，城之内，宮ヶ崎，宮ヶ崎第四，宮ヶ崎第五，宮ヶ崎第六，宮ヶ崎日進，網掛，昭和 計13区
石崎地区	船渡，東永寺，飯塚，中山，新興，前原，金沢，中石崎，柘原，宮前，長洲，遠西，台，前谷，後谷，若宮 計16区
5地区	合計89区

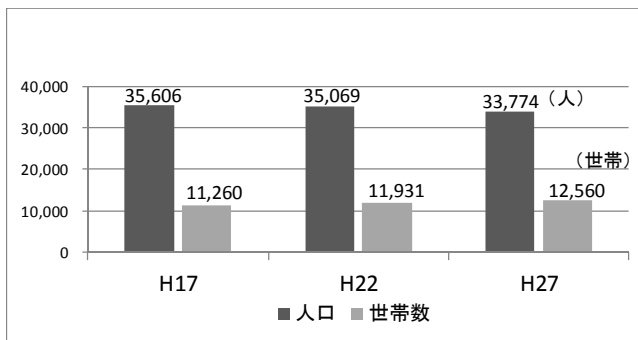
Ⅱ アンケート調査の集計

◆ 茨城町の地区別人口及び世帯

1 人口及び世帯

本町の人口は、減少傾向であり、平成27年1月現在において、平成17年に比べ約5%減少している状況である。一方、世帯については約11%増加しており、核家族化の進行や他市町村からの転入などがうかがえる。地区別の人口推移をみると、長岡地区においては、平成27年において、平成17年に比べ約4%増となり、その他の地区については、いずれも減少している。

図1 茨城町の人口及び世帯の推移



※住民基本台帳人口、世帯数

表1 茨城町の人口及び世帯の推移

		H17	H22	H27
長岡地区	人口	13,817	14,435	14,341
	世帯数	4,774	5,278	5,540
川根地区	人口	5,412	5,134	4,816
	世帯数	1,597	1,637	1,678
上野合地区	人口	5,051	4,817	4,512
	世帯数	1,519	1,584	1,651
沼前地区	人口	5,899	5,578	5,341
	世帯数	1,662	1,703	1,888
石崎地区	人口	5,427	5,105	4,764
	世帯数	1,708	1,729	1,803
全体	人口	35,606	35,069	33,774
	世帯数	11,260	11,931	12,560

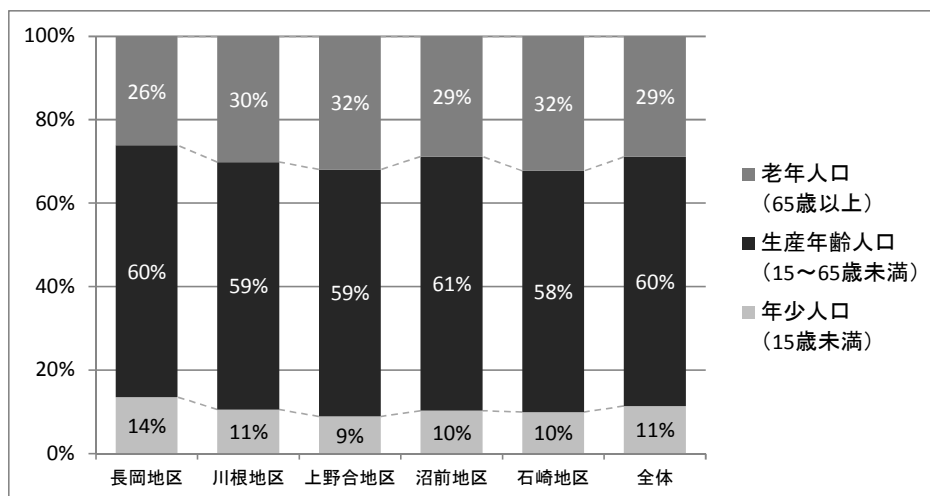
※住民基本台帳人口、世帯数

2 年齢3区分別人口

平成27年3月末日現在の年齢3区分別人口では、町全体で年少人口（15歳未満）が約11%、生産年齢人口（15歳以上～65歳未満）が約60%、老年人口（65歳以上）が約29%となっている。

地区別でも、概ね全体と同様の傾向であるが、長岡地区のみが他に比べ年少人口（15歳未満）の割合が若干高く、約14%となっている。

図2 年齢3区分



※住民基本台帳 人口3区分 (平成27年3月末日)

◆1 地区力の源(みなもと)を点検しよう

1-1 地区に加入している世帯はいくつありますか。また、地区に加入していない世帯はいくつありますか。

ア 地区に加入している (世帯) イ 地区に加入していない (世帯)

町内の 89 区において、区に加入している世帯は 8,024 世帯となっており、地区内に居住する世帯の 9 割以上が加入している状況である。

図 1-1 区加入世帯 (全体)

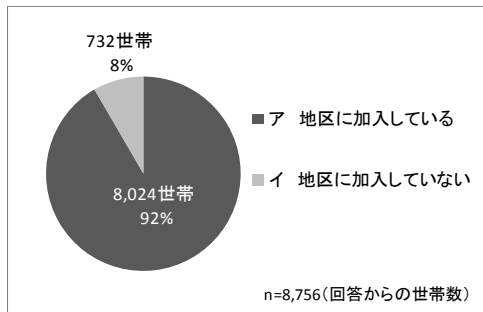
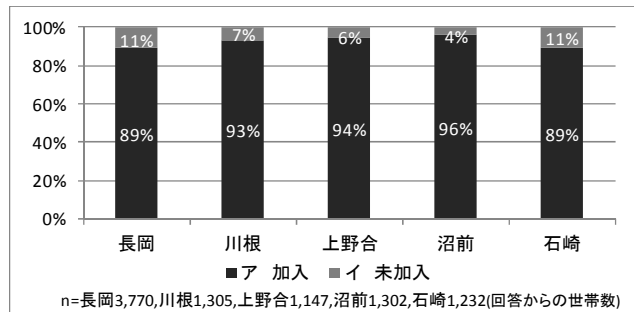


図 1-2 区加入世帯 (地区別)



1-2 高齢者(65歳以上の人)だけで暮らしている世帯はいくつありますか。(世帯)

回答があった区の世帯数は、全加入世帯 8,024 世帯のうち 6,141 世帯 (約 77%) であり、そのうち区が把握している「高齢者 (65 歳以上の人) だけで暮らしている世帯」は全体で 966 世帯 (約 16%) という状況である。

図 1-3 高齢者だけの世帯 (全体)

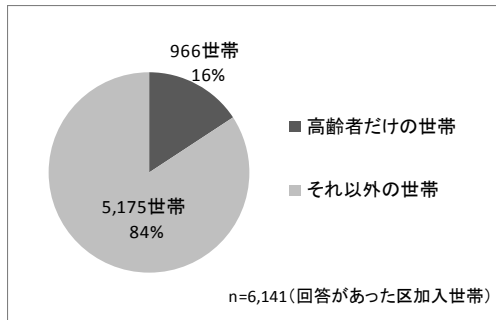
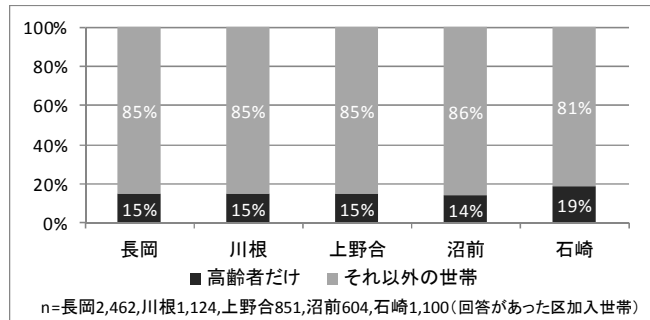


図 1-4 高齢者だけの世帯 (地区別)



1-3 あとつぎがいて、現在一緒に住んでいる世帯はいくつありますか。(世帯)

回答があった区の世帯数は、全加入世帯 8,024 世帯のうち 5,525 世帯 (約 69%) であり、区が把握している「あとつぎが同居している世帯」は、2,392 世帯 (約 43%) という状況である。

図 1-5 あとつぎが同居している世帯 (全体)

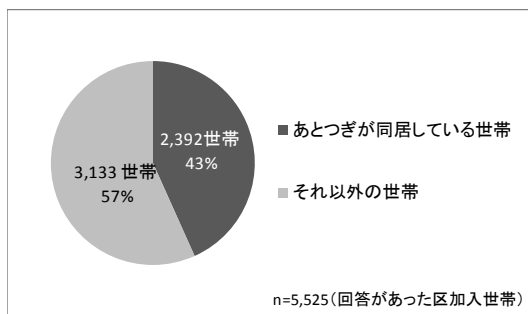
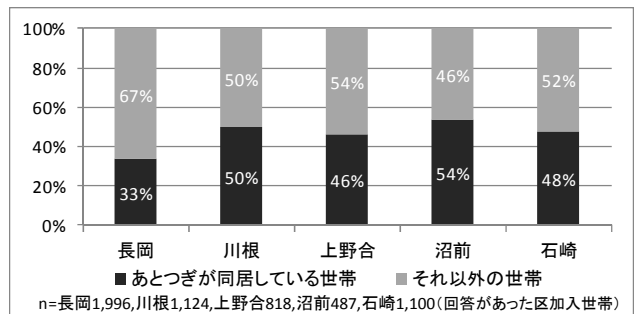


図 1-6 あとつぎが同居している世帯 (地区別)



1-4 地区の各種活動において、リーダーとなる人はいますか。

ア いる イ いない

リーダーとなる人の有無について、「いる」と回答した区は 89 区のうち 57 区（約 64%）である。地区別の状況では長岡地区が最も多い状況である。

図 1-7 地区のリーダー（全体）

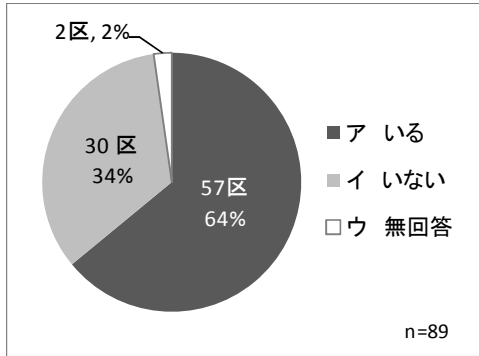
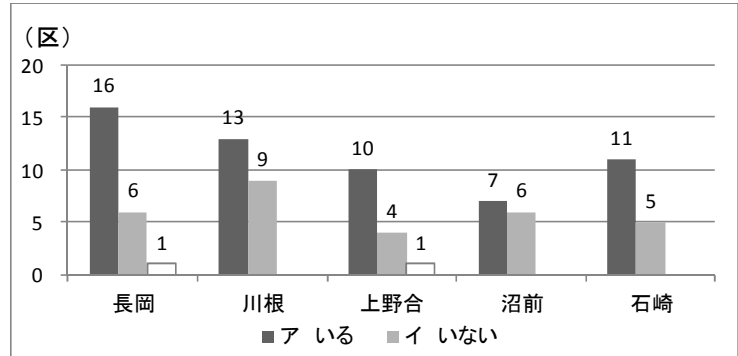


図 1-8 地区のリーダー（地区別）



いる場合は、どのような団体に所属していますか。

【所属している団体の主な回答】

■長岡地区

子ども会、育成会／高年者クラブ／消防団／女性会／大戸地区社会福祉協議会／区長OB会／小鶴囃子保存会／商店会、鶴寿会／水利組合／各種スポーツ団体／各種サークル団体／太鼓保存会／鶴祭会／ひぬま盆踊り保存会

■川根地区

子ども会、育成会／高年者クラブ／消防団／女性会／栗組合／竹根の会／転作組合／カラオケ同好会

■上野合地区

子ども会、育成会／高年者クラブ／消防団／各種スポーツ団体／秋葉ばやし保存会

■沼前地区

子ども会、育成会／高年者クラブ／消防団／女性会／各種スポーツ団体／同士会／保存会

■石崎地区

子ども会、育成会／高年者クラブ／消防団／女性会／営農組合／小浦会／各種スポーツ団体／中山農地維持組織／柘原地区活動組織／三世会

1-5 地区に住む高齢者一人暮らし、または、高齢者世帯の見守りについて民生委員さんの活動以外に地区独自のものはありますか
 ア ある イ ない

区独自の見守りの活動等については、「ない」との回答が全体の約9割を占めている。地区別においても全体的に極めて少ない状況である。

図 1-9 高齢者の見守り（全体）

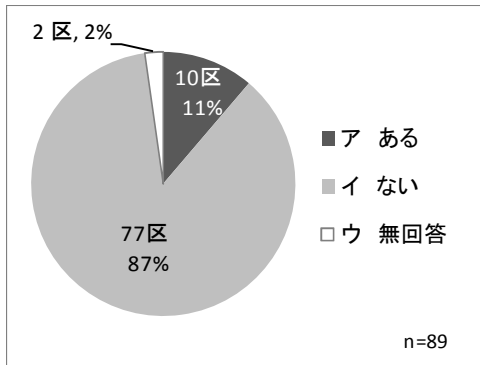
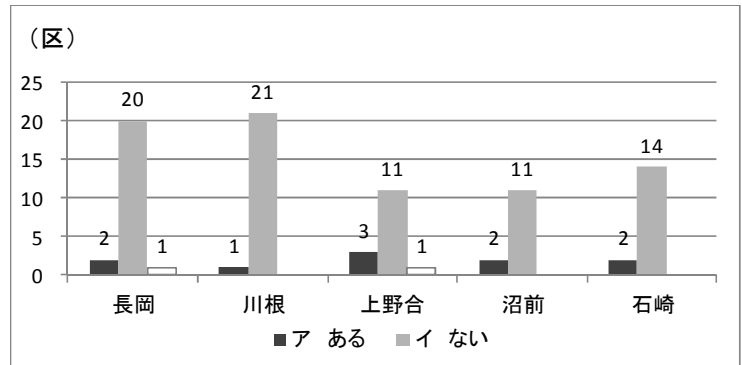


図 1-10 高齢者の見守り（地区別）



あると答えた場合、それは何ですか。

【ある場合の主な回答】

- 長岡地区：しらゆり会（女性会）／鶴寿会（商店会）／消防団，各常会長，区役員により地区内の情報を収集
- 川根地区：地域の見回りをする方がいる／高齢者に対する声かけ運動の実施
- 上野合地区：近所の見回りや消防団による確認／広報紙や回覧配りの際に確認／区の行事や運営活動による月3回程度の全戸訪問を実施
- 沼前地区：高年者クラブ活動の際に確認／区長，三役，班長による確認
- 石崎地区：区内の班組織での確認

1-6 地区に住む世帯のうち、他の地区に家のあつぎの人が住んでいる世帯はいくつありますか
 茨城町内（ 世帯） 茨城町外（ 世帯）

回答があった区は、89区のうち62区（約70%）である。区外にあつぎがいる世帯は615世帯で、そのうち約21%が「町内」に居住し、約79%が「町外」に居住しているという状況である。

図 1-11 回答状況

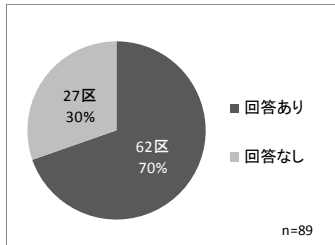


図 1-12 町内外の割合

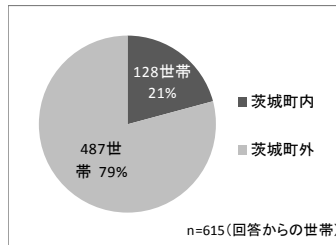
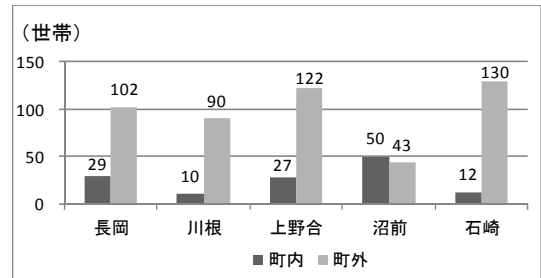


図 1-13 地区別状況



1-7 高齢者だけの世帯で他の市町村に家族がいて、よく訪れてくる世帯は地区に何世帯ありますか
 ア 週に1回以上（ 世帯） イ 月に1～2回程度（ 世帯）
 ウ その他（ 世帯） エ 確認ができていない（ 世帯）

回答があった区は89区のうち77区（約87%）で、そのうち「月に1～2回程度」が101世帯であり、「週に1回以上」は39世帯という状況である。

図 1-14 回答状況

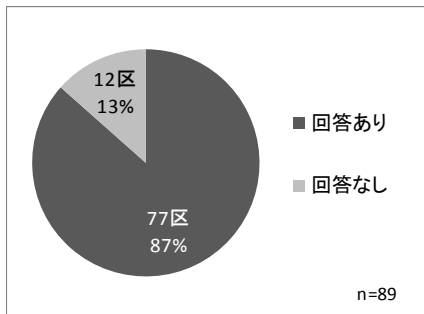
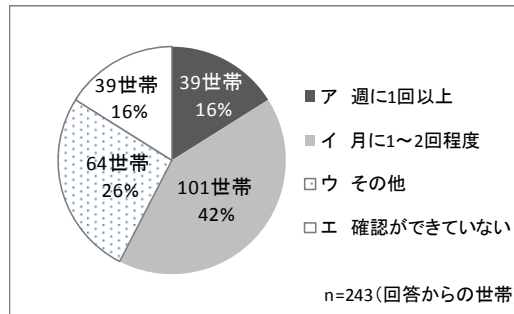


図 1-15 家族の訪問に関する回答の割合



◆2 地区力の勢い(いきおい)を点検しよう

2-1 最近の10年間で、他の地区に転出した人・世帯はありますか

ア ある イ ない ウ 確認していない

最近の10年間で他の地区に転出した人・世帯について、「ある」と回答された区は89区のうち58区(約65%)である。地区別でみると石崎地区が高い状況である。

図 2-1 他の地区に転出した人・世帯がある区(全体)

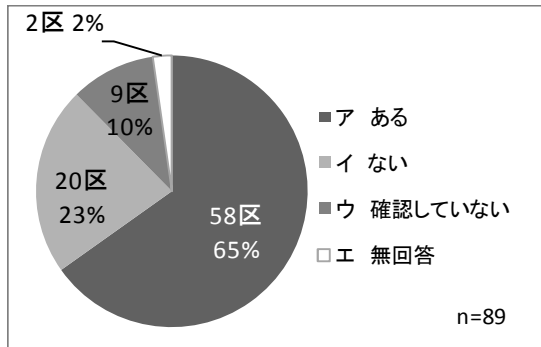
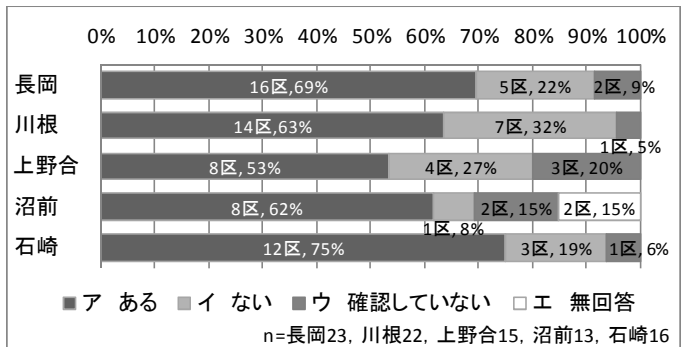


図 2-2他の地区に転出した人・世帯がある区(地区別)

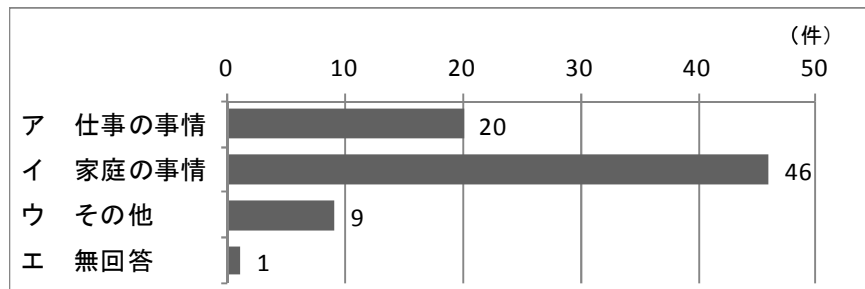


2-2 (続き) それほどの理由で転出しましたか(複数選択可)

ア 仕事の事情 イ 家庭の事情 ウ その他()

転出の理由について、最も多い回答は「家庭の事情」によるものが46件、次いで「仕事の事情」20件という状況である。

図 2-3 転出の理由(全体)



【その他の主な回答】

結婚／公共事業／東日本大震災等／環境の理由

2-3 近年、地区外から転入してきた人・世帯はありますか

ア ある イ ない

近年地区外から転入してきた人・世帯について、「ある」と回答された区は 89 区のうち 58 区（約 65%）である。地区別でみると長岡地区が最も高く、次いで石崎地区、川根地区という状況である。

図 2-4 転入してきた人・世帯がある区（全体）

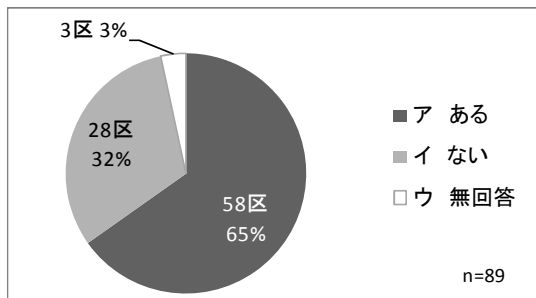
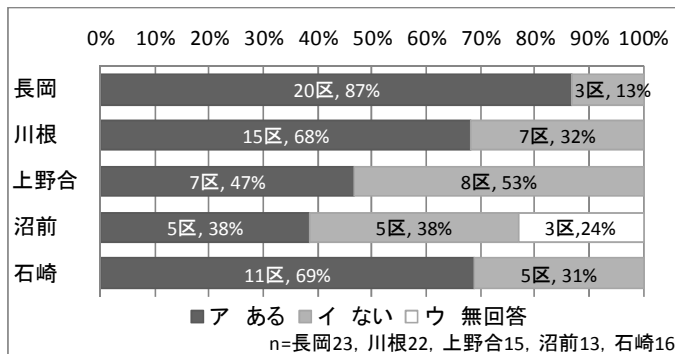


図 2-5 転入してきた人・世帯がある区（地区別）

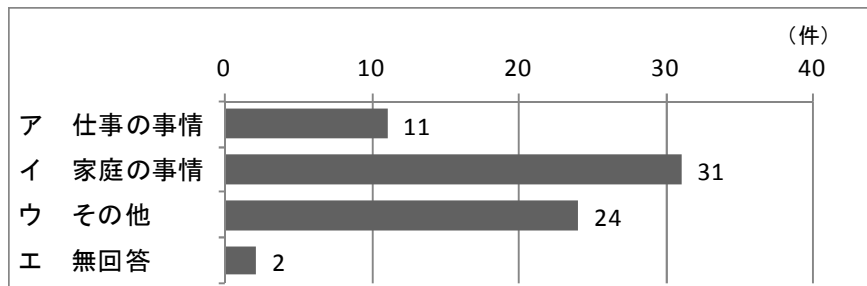


2-4 (続き) それはどのような理由ですか（複数選択可）

ア 仕事の事情 イ 家庭の事情 ウ その他（ ）

転入の理由について、最も多い回答は「家庭の事情」によるものが 31 件、次いで「その他」が 24 件という状況である。

図 2-6 転入の理由（全体）



【その他の主な回答】

土地の購入／住宅の新築／家の購入／相続／東日本大震災

2-5 近年、他の地区・地域から戻ってきた人（子供や兄弟など）はいますか

ア いる イ いない

近年、他の地区・地域から戻ってきた人について、「いる」と回答された区は89区のうち51区（約57%）である。地区別でみると上野合地区が最も高い状況である。

図 2-7 他から戻ってきた人（全体）

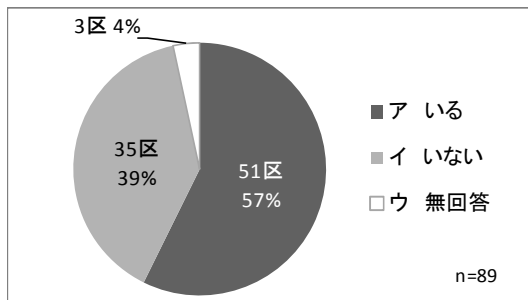
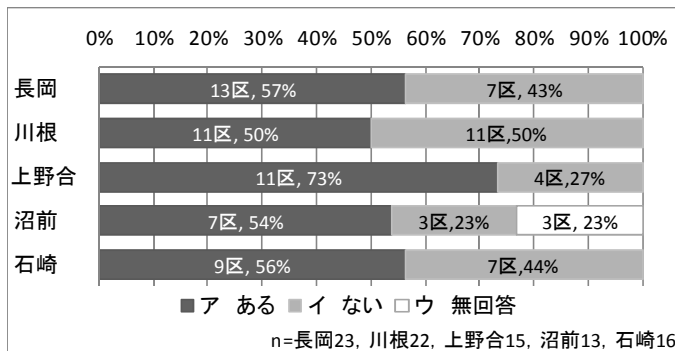


図 2-8 他から戻ってきた人（地区別）

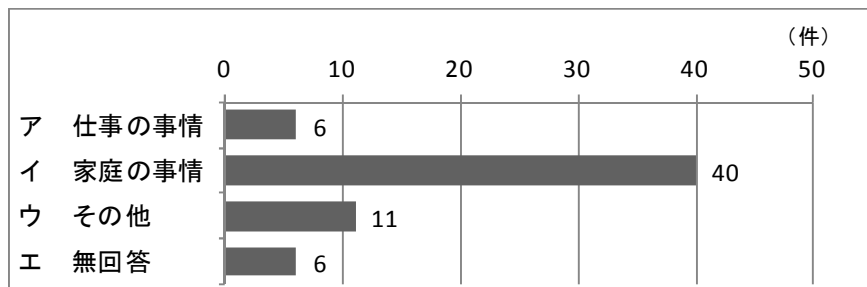


2-6 (続き) それはどのような理由ですか (複数選択可)

ア 仕事の事情 イ 家庭の事情 ウ その他 ()

戻ってきた人の理由について、最も多い回答は「家庭の事情」によるもので、40件となっている。

図 2-8 他から戻ってきた人の理由



【その他の主な回答】

親の病気／定年退職／就職／家を継ぐ準備のため／実家の近くに居住／子供の入学

◆3 地区力つながりを点検しよう

3-1 共同で利用・管理している施設はありますか

ア ある イ ない

共同で利用・管理している施設について、「ある」と回答された区は89区のうち80区であり、全体の約90%という状況である。

図 3-1 共同管理施設（全体）

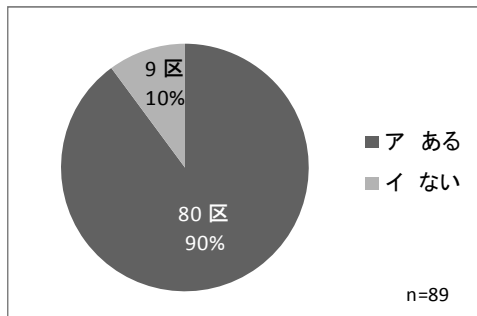
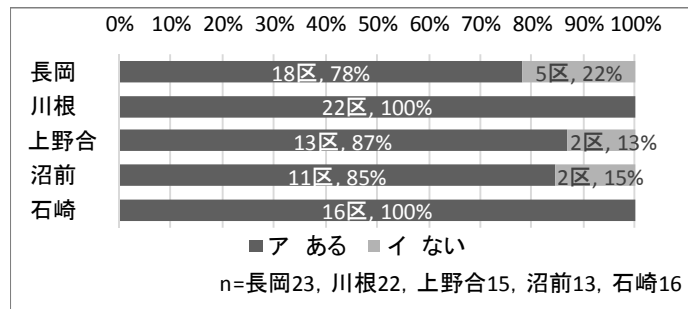


図 3-2 共同管理施設（地区別）



その利用・維持管理のやり方はどのようなものですか

①利用状況について

ア 区民のみ イ その他 ()

3-1で「ある」と回答された80区のうち、利用状況については「区民のみ」が55区（約69%）という状況である。

図 3-3 ①利用状況（全体）

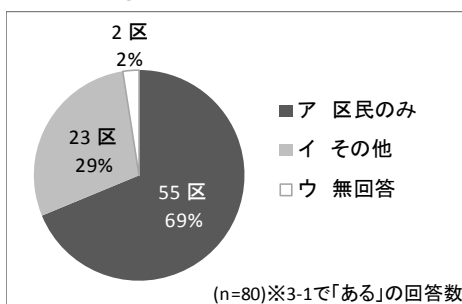
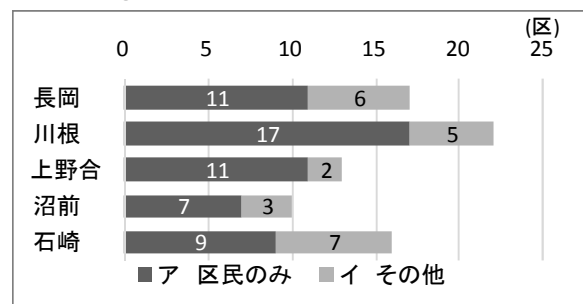


図 3-4 ①利用状況（地区別）



【その他の主な回答】

使用目的に外れなければ有料で一般人の利用が可能／区の関係者／他の区に貸し出し可能／他区との共同利用／土地改良区等／サークル等の利用／子ども会／町の事業

②維持管理について

ア 区の管理 イ 施設長の管理 ウ その他（ ）

3-1で「ある」と回答された80区のうち、維持管理について「区の管理」が61区（約76%）、「施設長の管理」が15区（約19%）という状況である。

図 3-5 ②維持管理（全体）

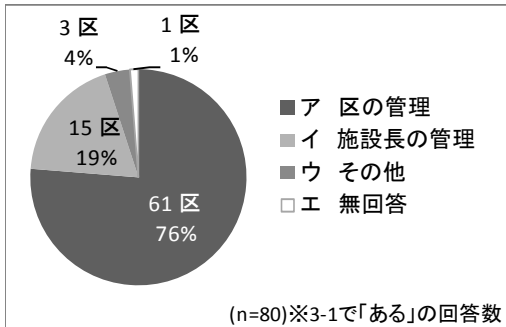
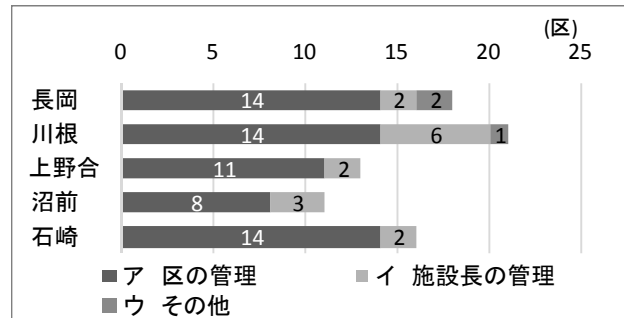


図 3-6 ②維持管理（地区別）



【その他の主な回答】長岡地区のみの回答

- ・ 区の役員に加え、区民によるボランティア
- ・ 公民館長及び公民館運営委員会（各常会代表者16名）で管理

3-2 共同で利用・維持管理している広場や公園等がありますか

ア ある イ ない

共同で利用・維持管理している公園や広場について、「ある」と回答された区は89区のうち39区であり、全体の約44%という状況である。地区別では、石崎地区が高い状況である。

図 3-7 共同利用維持・管理公園・広場等（全体）

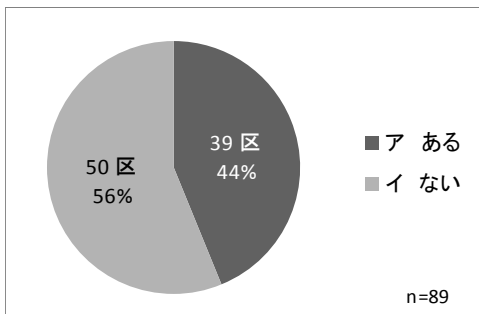
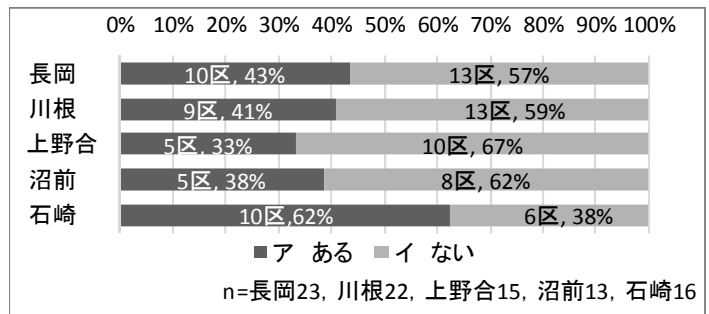


図 3-8 共同利用維持・管理公園・広場等（地区別）



その利用・維持管理のやり方はどのようなものですか

①利用状況について

ア 区民のみ イ その他（ ）

3-2で「ある」と回答された39区のうち、利用状況について「区民のみ」が23区（約59%）という状況である。

図 3-9 ①利用状況（全体）

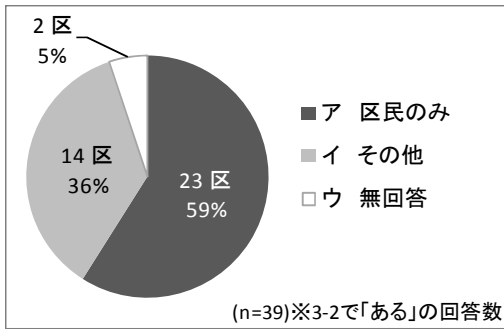
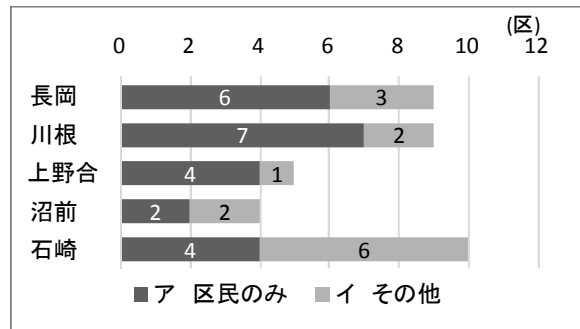


図 3-10 ①利用状況（地区別）



【その他の主な回答】

子ども会、育成会／高年者クラブ／小学校学区の住民／区外の近隣居住者／スポーツ少年団

②維持管理について

ア 区の管理 イ 施設長の管理 ウ その他（ ）

3-2で「ある」と回答された39区のうち、維持管理について「区の管理」が29区（約74%）、「施設長の管理」が3区（約8%）という状況である。

図 3-11 ②維持管理（全体）

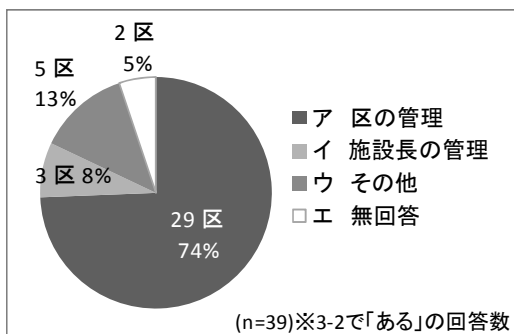
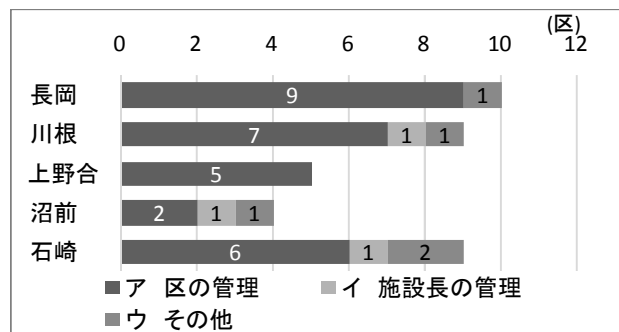


図 3-12 ②維持管理（地区別）



【その他の主な回答】

小学校学区の住民／高年者クラブ

3-3 地区で利用・管理している土地や山林等がありますか

ア ある イ ない

地区で利用・維持管理している土地や山林等について、「ある」と回答された区は89区のうち34区であり、全体の約38%という状況である。

図 3-13 利用・維持管理土地・山林等（全体）

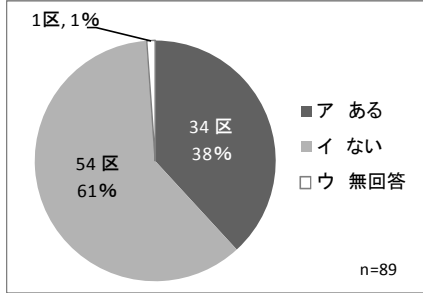
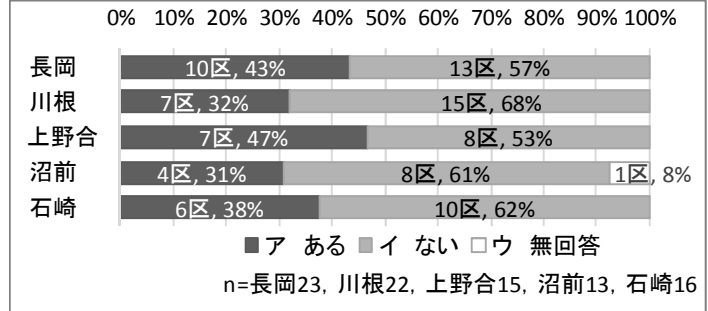


図 3-14 利用・維持管理土地・山林等（地区別）



その利用・維持管理のやり方はどのようなものですか

①利用状況について

ア 区民のみ イ その他 ()

3-3で「ある」と回答された34区のうち、利用状況について「区民のみ」が28区（約82%）という状況である。

図 3-15 ①利用状況（全体）

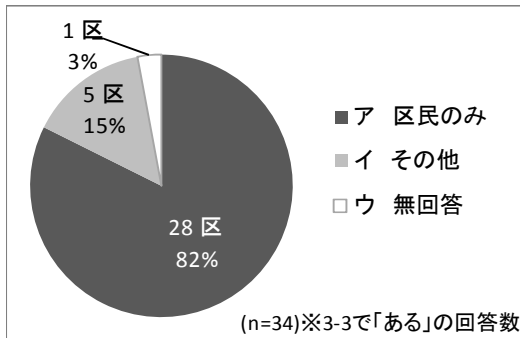
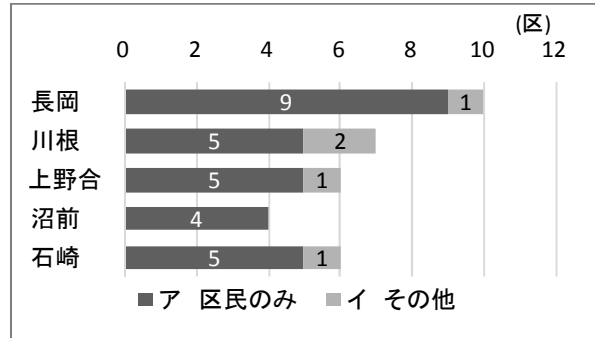


図 3-16 ①利用状況（地区別）



【その他の主な回答】

他地区との共同利用／スポーツ少年団

②維持管理について

ア 区の管理 イ その他 ()

3-3で「ある」と回答された34区のうち、維持管理について「区の管理」が26区(約76%)という状況である。

図 3-17 ②維持管理 (全体)

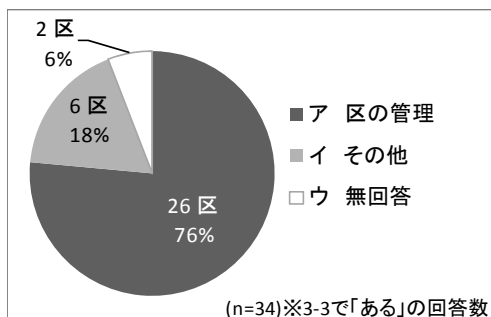
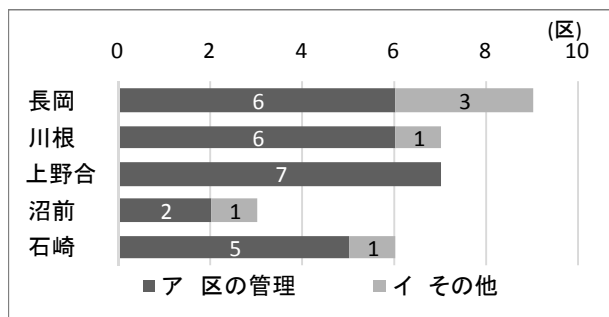


図 3-18 ②維持管理 (地区別)



【その他の主な回答】

ボランティア／有志会／地権者／氏子総代／水利組合／消防団／他の地区との共同管理／スポーツ少年団

3-4 地区で利用・管理している物品はありますか

ア ある イ ない

地区で利用・維持管理している物品について、「ある」と回答された区は89区のうち57区であり、全体の約64%という状況である。

図 3-19 区で利用・管理物品 (全体)

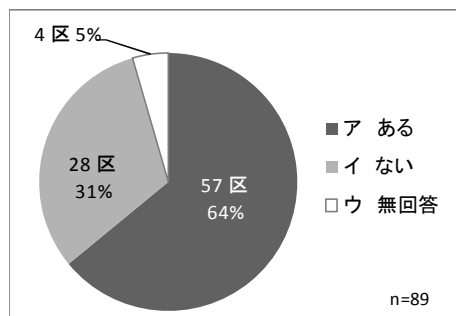
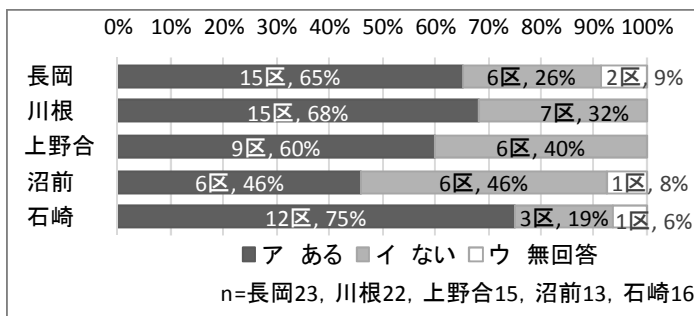


図 3-20 区で利用・管理物品 (地区別)



その利用・維持管理のやり方はどのようなものですか

①利用状況について

ア 区民のみ イ その他 ()

3-4で「ある」と回答された57区のうち、利用状況について「区民のみ」が48区（約84%）という状況である。

図 3-21 ①利用状況（全体）

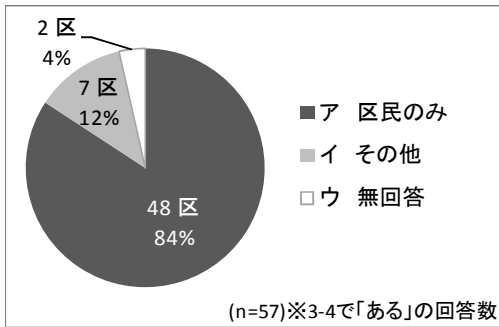
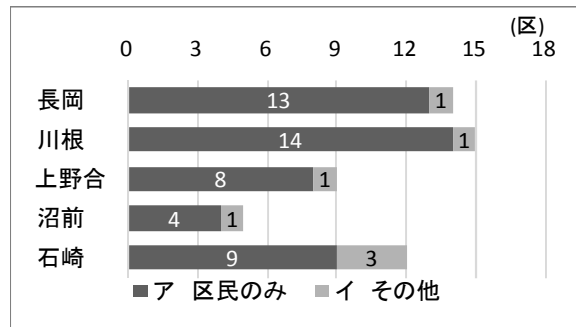


図 3-22 ①利用状況（地区別）



【その他の主な回答】

神輿や山車等について希望者は誰でも参加可

②利用状況について

ア 区の管理 イ その他 ()

3-4で「ある」と回答された57区のうち、維持管理について「区の管理」が50区（約88%）という状況である。

図 3-23 ②維持管理（全体）

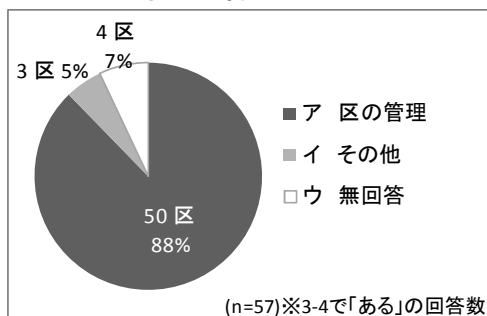
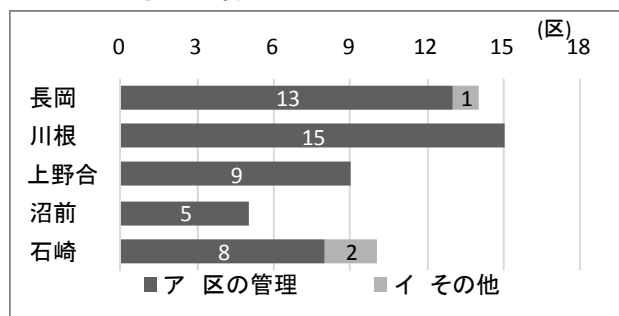


図 3-24 ②維持管理（地区別）



【その他の主な回答】

神社備品、神輿、山車などは区の委託で氏子総代が管理／班で管理／子ども会等で管理

3-5 そのほか、地区住民が共同で利用・管理している資産や財産等がありますか

ア ある イ ない

利用・維持管理しているそのほかの資産や財産等について、「ある」と回答された区は89区のうち35区であり、全体の約39%という状況である。

図 3-25 その他資産・財産（全体）

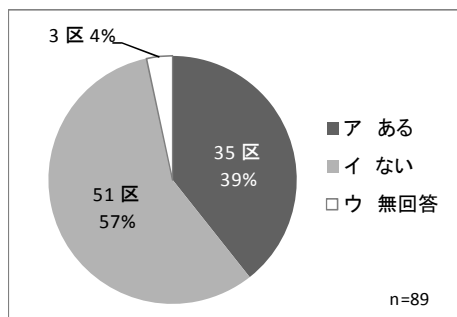
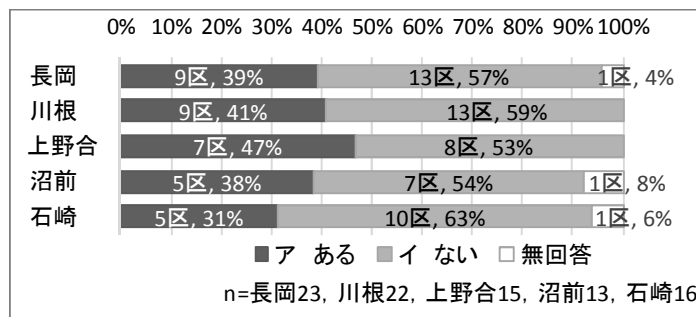


図 3-26 その他資産・財産（地区別）



ある場合は何ですか

【ある場合の主な回答】

神社／冠婚葬祭用具／寺院／消防ポンプ／墓地／神輿／ピザ釜／釜戸／消防小屋／倉庫／火の見櫓
／テント／福社会館／お祭り備品／保存会備品／行燈／ごみ集積所

3-6 地区としてどのような作業・活動を行っていますか。また、年何回実施していますか
 ア 除草作業（ 回） イ 花壇整備（ 回） ウ 道路(町・農道等)整備（ 回）
 エ 小枝はらい（ 回） オ 公民館等清掃（ 回） カ 空き缶・ゴミ拾い（ 回）
 キ その他（ ）

作業・活動について、87区（約98%）で行われている状況である。内容は、「空き缶，ゴミ拾い」が83区と最も多く、次いで公民館等の清掃が77区，除草作業が73区という状況となっている。

図 3-27 区での作業活動（全体）

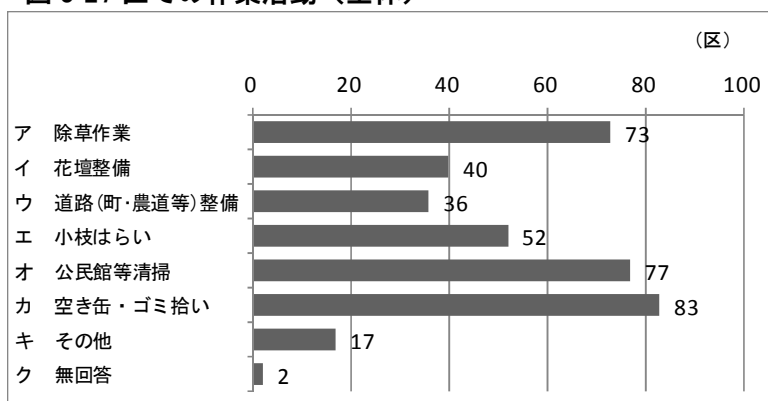
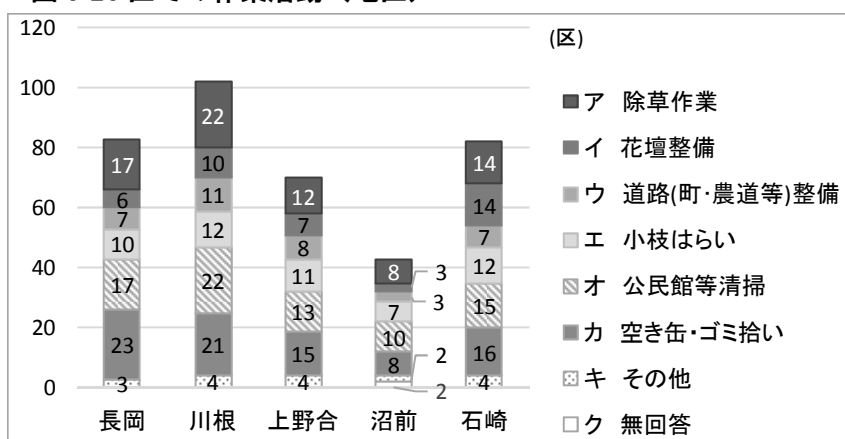


図 3-28 区での作業活動（地区）



【その他の主な回答】

- 長岡地区：長岡公園／神社の清掃／水田（用水路，排水路）の清掃／堤防の草刈
- 川根地区：用水路の清掃／神社の清掃／下水道の清掃／堤防の草刈
- 上野合地区：神社の清掃／堤防の草刈／田んぼの芝焼／カーブミラーの清掃
- 沼前地区：グラウンドの整備／神社の清掃
- 石崎地区：中山農地維持組織での農作業／農道等の草刈／花壇整備／自警団によるパトロール

3-7 これらの地区の作業・活動について、困ったことや気づいたこと等がありますか

- ア 人手が足りない イ 費用が足りない
 ウ 安全上の問題（保険等） エ その他（ ）

作業活動について困ったことや気づいたこと等に、「人手が足りない」が33区であり、次いで「安全上の問題」が31区という状況である。

図 3-29 作業・活動について困ったこと（全体）

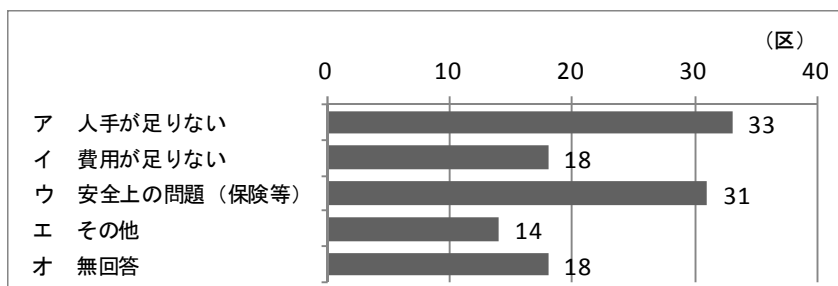
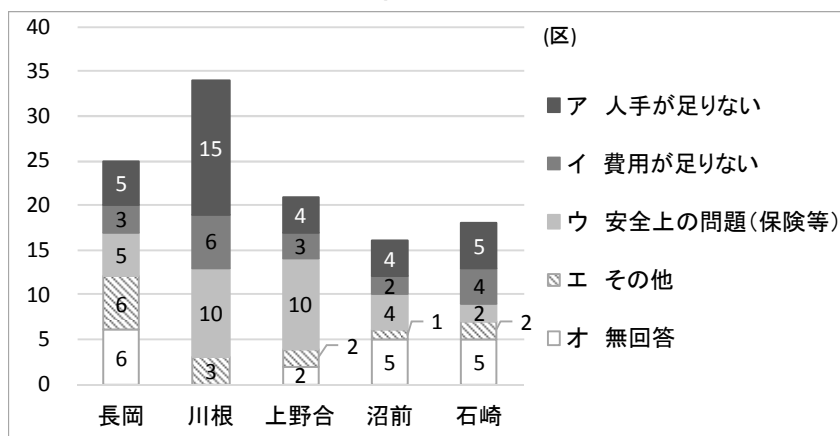


図 3-30 作業・活動について困ったこと（地区別）



【その他の主な回答】

- ・各家庭が個立化し、連帯意識が希薄になっている。
- ・班単位の活動で高齢化等により参加者が減少している。
- ・高齢者が多く、いつまでも続けることが困難である。
- ・道路ぎわの樹木等の管理がおろそかになっている。
- ・子どもが少なく、お祭りができない。
- ・作業のときにボランティアを募集している。
- ・黒川の除草作業は、川に入るため重労働で、危険であり、人手が集まらない。

3-9 地区における日常生活、家事などで支援を必要としている人に対して、助けてくれる人、グループなどはありますか
ア ある イ ない

日常生活、家事などで支援を必要としている人に対して、助けてくれる人やグループの存在について、「ある」の回答が7区であり、全体の約8%と低い状況である。

図 3-33 助けてくれる人など（全体）

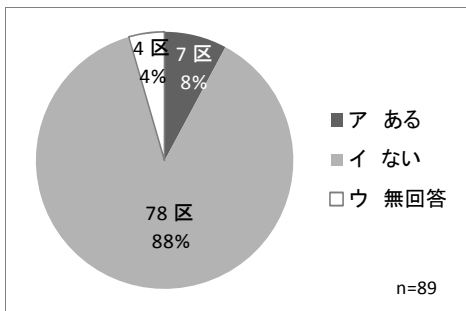
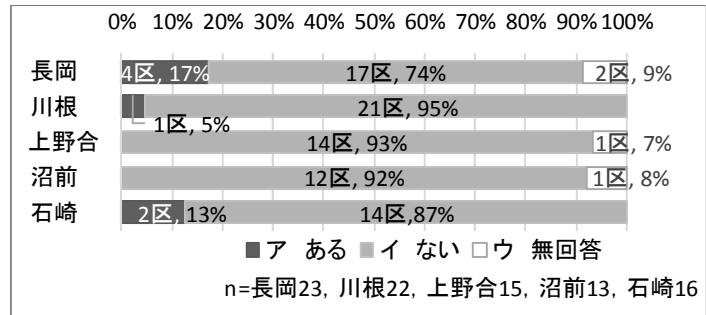


図 3-34 助けてくれる人など（地区別）



ある場合どのようなグループがありますか。

地区内：

地区外：

【ある場合の主な回答】

- ・中丸原創造プロジェクト有志会
- ・谷田部地区の各委員
- ・しらゆり会（女性会）による見守り
- ・区の中の班長以上の方
- ・隣近所の方
- ・前原区女性会

3-10 他の地区と協力・連携して何か活動や行事などを行っていますか

ア ある イ ない

他の地区と協力・連携して活動や行事を行なっている区について、「ある」との回答は32区であり、全体の約36%という状況である。

図 3-35他の区と連携した活動など（全体）

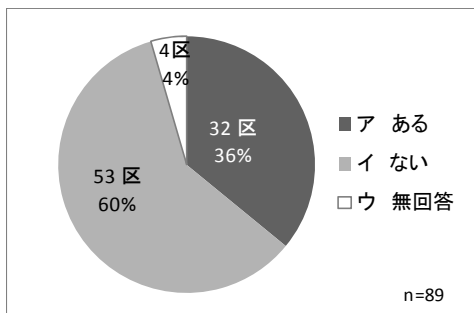
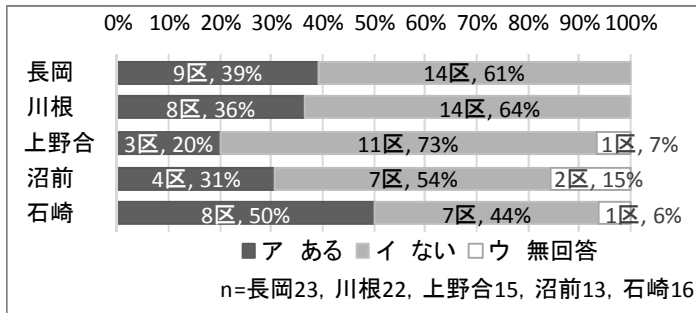


図 3-36 他の区と連携した活動など（地区別）



ある場合その内容はどのようなことですか。

【ある場合の主な内容】

- 長岡地区：地区社会福祉協議会の行事／老人ホームへの慰問／大戸さくら祭り／スポーツ活動
- 川根地区：神社の祭礼／他区との情報交換会／公園お清掃／夏祭り／水路，ため池の清掃，整備／子ども会活動／三合区金平祭礼／健康体操／除草作業
- 上野合地区：他の地区にお囃子の指導を実施／黒川の除草／神社の祭礼
- 沼前地区：堤防の芝焼き／地区社会福祉協議会の行事／除草作業／敬老の日のお祝い
- 石崎地区：除草／フラダンスの集まり／地区社会福祉協議会の行事／区の盆踊り／神社の祭礼／祭り等の参加／小障（こさ）払い／多面的機能支払交付金事業（農用施設の保安全管理，景観形成，生活環境保全など）の共同活動／町道の環境保全活動

3-11 今後、地区における助け合いや協力で、特に必要と思われることはありますか

地区における助け合いや協力で、特に必要と思われることについて、高年者への支援や見回り活動が必要であるという回答が各地区でみられた。

【各地区の主な回答】

■長岡地区

医療などの資格を持った人たちの協力／災害時の協力／集会場の設置／高齢者世帯の買い物サポート／病院の送迎／通学路の安全確保／独居世帯の見回りと管理／農地の共同による管理

■川根地区

独居世帯の健康状態の確認，見守り活動／高年者世帯とのコミュニケーション／高齢者世帯の通院，交通手段／一人暮らししている世帯への助け合い

■上野合地区

高齢者への声かけ／ボランティアの組織化

■沼前地区

不法投棄対策／介護対策／地区三世代ふるさと交流会／人と人の交流

■石崎地区

一人暮らし，高齢者への支援と訪問／LANや無線を利用した情報ネットワーク

◆4 地区力の資源を点検しよう

4-1 地区で自慢できるものはありますか

ア ある イ ない

地区で自慢できるものについて、「ある」と回答された区は89区のうち34区（38%）である。地区別でみると、石崎地区と上野合地区が概ね5割程度と高い状況である。

図 4-1 区で自慢できるもの（全体）

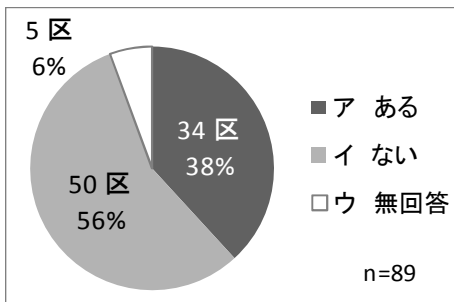
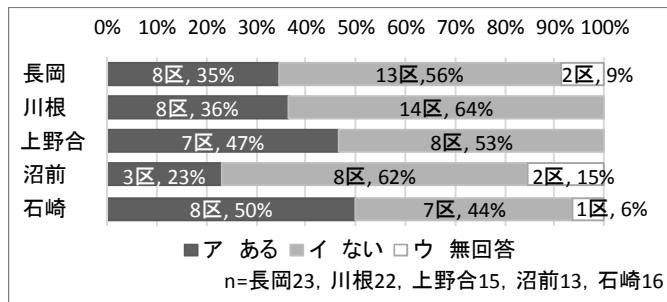


図 4-2 区で自慢できるもの（地区別）



ある場合、どのようなものですか。

【ある場合の主な回答】

■長岡地区

楠公社／桜田門外の毛塚／長岡－水戸気動車跡地の乗り場／水戸三十三観音札所／区民が作成した絵画、工作等を公民館に展示し、区内の芸術文化の振興及び区民の交流促進／遊休農地を利用した憩いの場／118年続いている小鶴祇園祭／風祭／県道の花壇／上の山古墳／前方後円墳／大戸の桜／大戸さくら祭／蛍

■川根地区

古墳群／長年続いている区の定例役員会／栗／下土師という地名／工業団地／ポケットファームどきどき／伝統行事の敬称／三世代ふれあい収穫祭／生涯学習研修／敬老祝賀会／ピザパーティー／花いっぱい集落／レクリエーション大会と芋煮会／営農組合による農作業の受託

■沼前地区

月1回の公民館掃除／神社掃除／健康体操／桜運動公園の草刈／祇園祭等の協力／生涯学習等の移動教室／三世代交流会／ゴミや空き缶拾い／黒川堤防の草刈作業／小幡城跡／観世音祭／桜並木

■上野合地区

旧家、名家／農産物／災害時の結束

■石崎地区

潤沼／ひょっとこ踊り／農業大学校下の水田地帯／団結力／前原区女性部の花いっぱい運動／区民のまとまり（協調性）／区への積極的な支援協力（草刈、空き缶拾い）／米作り／神社の活動

4-2 地区の魅力として、思い浮かぶものは何ですか

【区の魅力として、思い浮かぶものの主な回答】

- **長岡地区**：長岡宿の歌／高岡神社の大木（ケヤキ）／便利性／高速道路インター／大型店舗／学校が近い／商業と農村のハイブリッド地区／美しい水田／県道脇の花壇／団地内は静かできれい／水戸医療センター／区民の協力体制／自然／水
- **川根地区**：自然（緑、野生動物、鳥類）／静かな環境／区民の仲間意識／自主的なボランティア活動／高速道路、インフラ整備／昔ながらの農地や山林／田舎の景観
- **上野合地区**：祇園祭／ゴルフ場／里山／農村風景
- **沼前地区**：潤沼南地区の空気／潤沼
- **石崎地区**：人情味／各世代で協調性がありまとまりがある。／景観／自然のめぐみ（米、野菜）

4-3 美しい自然環境・自然景観はありますか

ア ある イ ない

美しい自然環境・自然景観について「ある」と回答された区は89区のうち34区であり、全体の約38%という状況である。

図 4-3 美しい自然環境・自然景観（全体）

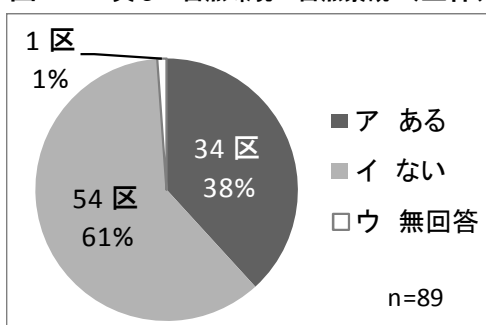
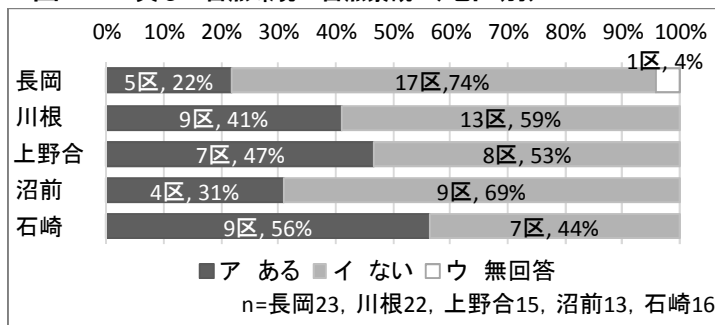


図 4-4 美しい自然環境・自然景観（地区別）



ある場合、どのような場所ですか。

【ある場合の主な回答】

- **長岡地区**：楠公社／桜田門外の毛塚／国道6号沿いの広々とした田園風景／大戸の桜／水田／里山／畑地
- **川根地区**：堤防から望む筑波山／区北側に広がる水田／境内／ため池
・潤沼川と堤防／畑作台地／人々の営みと住居や道路／弁天池周辺／神社／潤沼の自然景観
- **上野合地区**：ホテルの生息地／水田の湧き水／寛政川／散歩に適切な道路／農地全体／田園風景／緑が特に豊か
- **沼前地区**：自然豊かな田園／潤沼／網掛公園からの夕日／神社まわりからの集落と潤沼
- **石崎地区**：自然が多く美しい／沢／潤沼／田園風景／名勝広浦の秋月／若宮川の水質

4-4 美しい街並み, 建物はありますか

ア ある イ ない

美しい街並み, 建物について, 「ある」と回答された区は 89 区のうち 3 区であり, 全体の約 3% とかなり低い状況である。

図 4-5 美しい街並み, 建物 (全体)

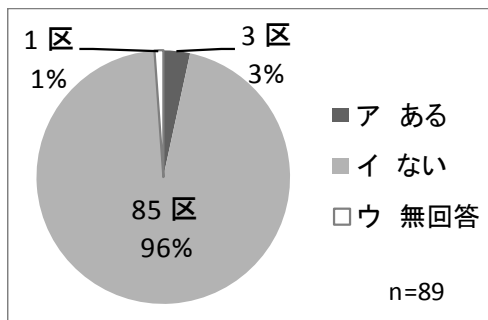
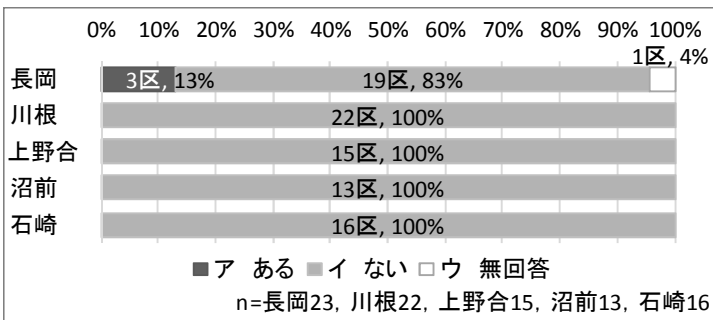


図 4-6 美しい街並み, 建物 (地区別)



ある場合, どのようなものですか。

【ある場合の主な回答】

木村住宅／大えびす・中えびす／イオンタウン水戸南／仲宿通りの小鶴商店街

4-5 見晴らしのよい場所がありますか

ア ある イ ない

見晴らしのよい場所について, 「ある」と回答された区は 89 区のうち 22 区であり, 全体の約 25% という状況である。

図 4-7 見晴らしのよい場所 (全体)

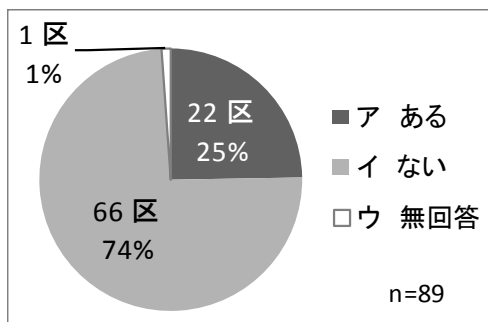
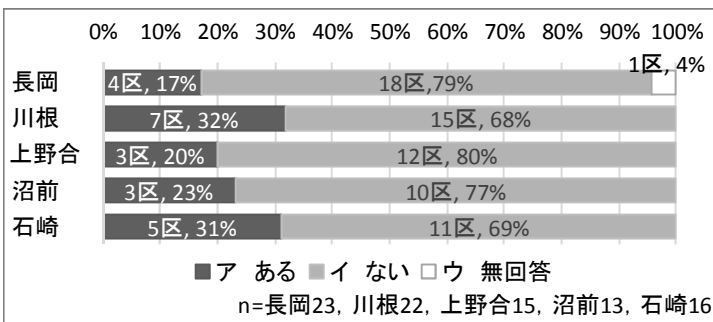


図 4-8 見晴らしのよい場所 (地区別)



ある場合, どのようなところですか。

【ある場合の主な回答】

明光中学校の坂を下りるときの景色／諏訪神社境内の高台／公民館前／堤防／稲荷神社境内から見る北側の景観／寺から望む地区内の眺め／涸沼川堤防沿いから水田・遠望筑波山系の勇姿／夕焼け／台地をくりぬき走る東関東自動車道と周辺の水田, 畑, 山林の風景／茨城工業団地の広々とした風景／ハス池／運動公園／共同墓地入口から北西を見た水田, 山, 小幡城方面／稲荷神社／円福寺からの田圃の風景／涸沼, 網掛公園からの夕日／神社のまわりからの集落と涸沼／共同墓地／親沢の館の山／一ノ矢八坂神社

4-6 美しい植物が生えているところはありますか

ア ある イ ない

美しい植物が生えているところについて、「ある」と回答された区は89区のうち12区であり、全体の約14%という状況である。

図 4-9 美しい植物が生えているところ（全体）

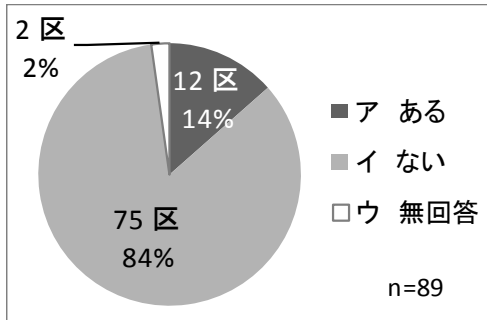
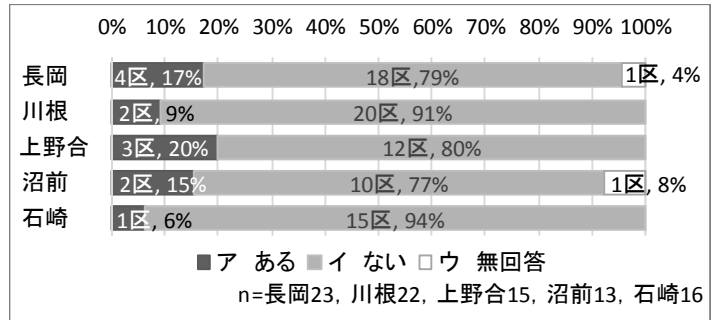


図 4-10 美しい植物が生えているところ（地区別）



ある場合、どのようなところですか。

【ある場合の主な回答】

憩いの場（絆園）／湛沼の周りの桜／山野草／鹿島神社の山百合／潤沼周辺／農場の桜並木

4-7 野生の生き物が生息しているところはありますか

ア ある イ ない

野生の生き物が生息しているところについて、「ある」と回答された区は89区のうち35区であり、全体の約35%という状況である。

図 4-11 野生の生き物が生息しているところ（全体）

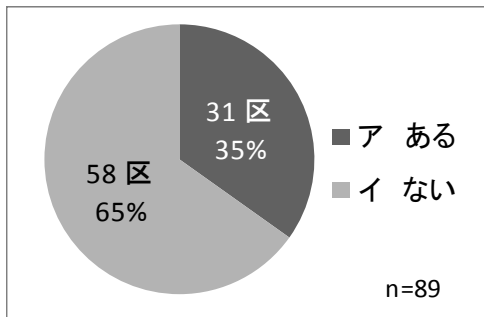
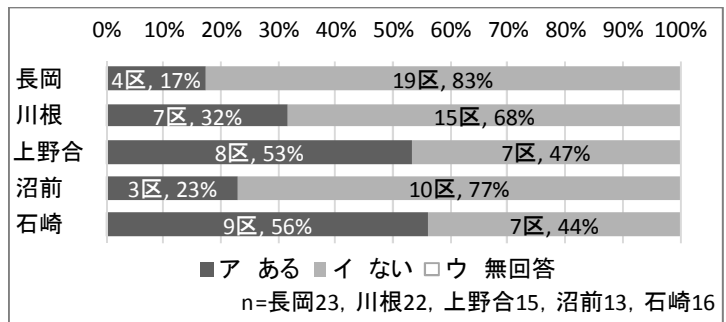


図 4-12 野生の生き物が生息しているところ（地区別）



ある場合、どのようなところですか。

【ある場合の主な回答】

地区	場所	生き物
長岡	山林／水田／墓地	タヌキ／キジ／ホタル／野鳥／せみ／蝶／ホタル
川根	山林／畑地／水田／潤沼川沿いの水辺／雑草地	野ウサギ／キジ／野鳥／ホタル／タヌキ／ハクビシン

【ある場合の主な回答】

地 区	場 所	生 き 物
上野合	山林／荒地／水田／農地と山林の間／民家物置／黒川／雑木林／笹やぶ／小幡城跡の山	野ウサギ／キジ／ウグイス／コジュケイ／コゲラ／タカ／トビ／ホトトギス／ヒバリ／オオムラサキ／オニヤンマ／アジアイトトンボ／カブトムシ／ハクビシン／タナゴ／リス
沼 前	潤沼／沼地	
石 崎	前原区の減反地区周辺／林／湖／畑／田／潤沼／山林	キジ／コジュケイ／ホタル／シラサギ／トビ／野ウサギ／ハクビシン

4-8 遺跡・史跡などはありますか

ア ある イ ない

遺跡・史跡などについて、「ある」と回答された区は89区のうち25区であり、全体の約28%という状況である。

図 4-13 遺跡・史跡など（全体）

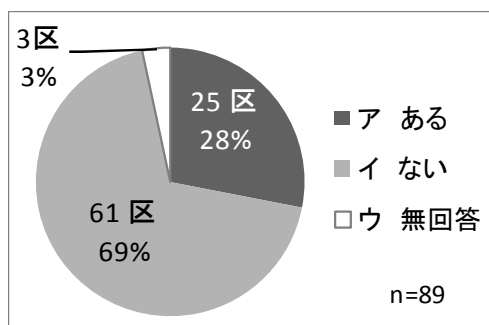
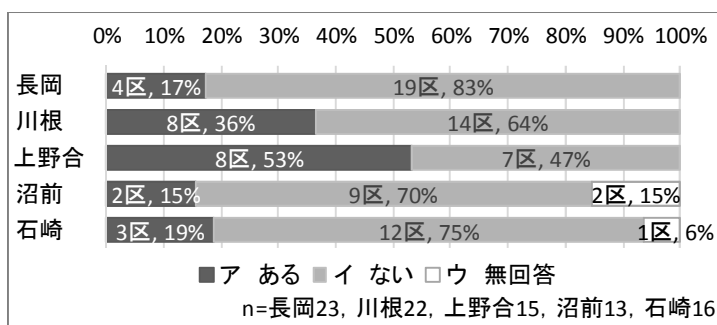


図 4-14 遺跡・史跡など（地区別）



ある場合、どのようなものですか。

【ある場合の主な回答】

- 長岡地区：楠公社／高岡神社大木／薬師観音7番札所／諏訪神社／薬師堂，山倉大六天王／諏訪神社／愛宕神社／小鶴稻荷神社／観音堂／水戸藩領第六番札所／竜谿山西楽院如意輪寺／前方後円墳
- 川根地区：諏訪古墳群／飯沼城跡／慈雲寺の塔／弓の試射をした堀／石仏／前方後方墳
- 上野合地区：久根後遺跡／明七遺跡／朝日の稲荷／古い寺跡／海老澤弾正忠の館跡／旗本曾我氏の墓地／古墳群／勘十郎堀／観音様／お堂／小幡城跡／はにわ公園
- 沼前地区：勘十郎堀／宮ヶ崎城跡
- 石崎地区：東永寺の横穴遺跡／親沢の砂洲／広浦の秋月／一ノ矢八坂神社／稲荷宮／水神宮

4-9 卓越した能力・技術を有する人はいますか

ア いる イ いない

卓越した能力・技術を有する人について、「いる」と回答された区は89区のうち12区であり、全体の約13%という状況である。

図 4-15 卓越した能力・技術を有する人（全体）

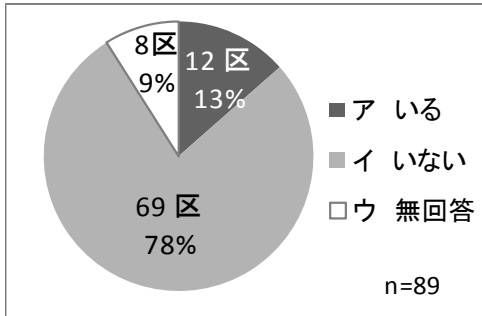
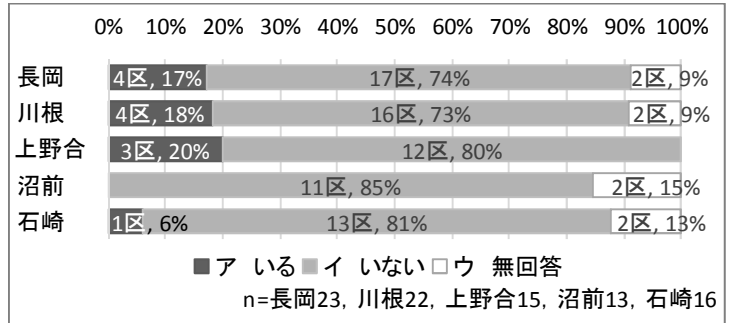


図 4-16 卓越した能力・技術を有する人（地区別）



いる場合、どのような人ですか。

【いる場合の主な回答】

設計者、植物研究者等／鱈（どじょう）すくい舞踊者／祇園囃子演奏者（太鼓、笛、鐘）／ひょっとこ踊り等の舞踊者／ふるさと塾塾長／ほうきやしめ縄・熊手を作る技術を持っている人／津軽三味線奏者／80歳以上の短距離走県記録保持者／華道家／書道家／習字塾の先生／歴史家／植木職人

4-10 郷土芸能、伝統的芸能、工芸などはありますか

ア ある イ ない

郷土芸能、伝統的芸能、工芸などについて、「ある」と回答された区は89区のうち12区であり、全体の約13%という状況である。

図 4-17 郷土芸能、伝統的芸能、工芸など（全体）

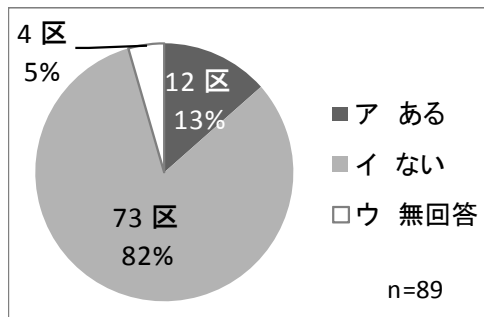
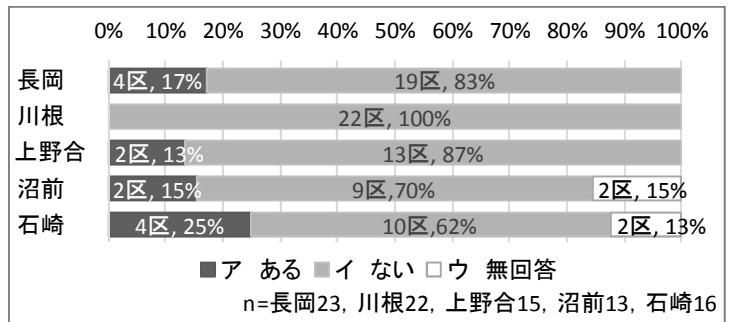


図 4-18 郷土芸能、伝統的芸能、工芸など（地区別）



ある場合、どのようなものですか。

【ある場合の主な回答】

楠公会舞／長岡宿の歌／大杉太鼓／八坂神社祇園祭の小鶴囃子／台風危難除け祈願祭の風祭り／一万燈盆踊り／ひぬま盆踊り／獅子頭彫刻／さくら音頭／秋葉はやし保存会／ひょっとこ囃子保存会／宮ヶ崎囃子保存会／祇園祭のお札／あんばまつり保存会（にっばち会）／小浦会／子ども会夏祭り

4-11 郷土料理，食文化などがありますか

ア ある イ ない

郷土料理，食文化などについて，「ある」と回答された区は89区のうち5区であり，全体の約6%と低い状況である。

図 4-19 郷土料理，食文化など（全体）

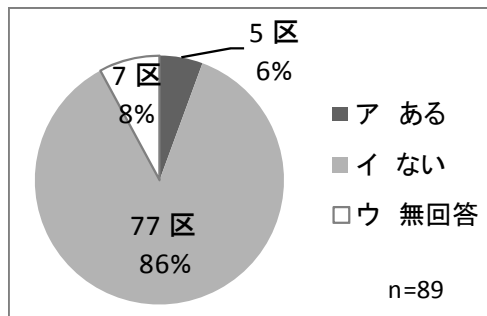
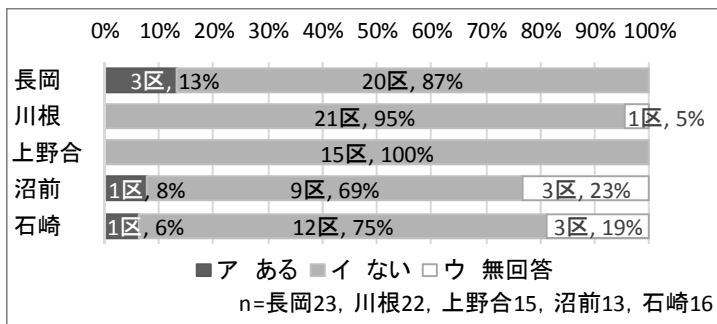


図 4-20 郷土料理，食文化など（地区別）



ある場合，どのようなものですか。

【ある場合の主な回答】

つと豆腐／納豆／味噌づくり／そば／ソースかつ丼

4-12 伝統行事，祭りなどがありますか

ア ある イ ない

伝統行事，祭りなどについて，「ある」と回答された区は89区のうち58区であり，全体の約65%という状況である。地区別で見ると，川根地区，石崎地区において80%の区で実施している。

図 4-21 伝統行事，祭りなど（全体）

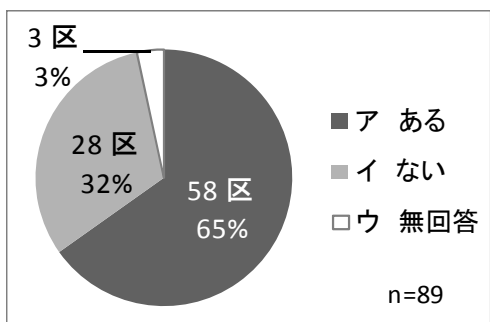
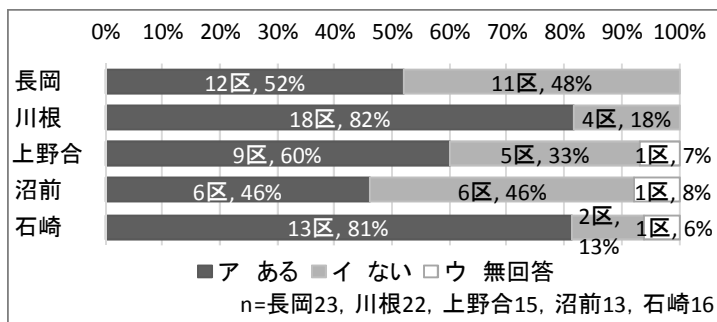


図 4-22 伝統行事，祭りなど（地区別）



ある場合、どのようなものですか。

【ある場合の主な回答】

■長岡地区

神社の元旦祭り、初午祭、祇園祭、新嘗祭、五代祭、防火祈願祭／一万燈盆踊りと台風危難除けの風祭／大戸さくら祭／夏祭り／子安講／お田植え祭／敬老祝宴／桜祭

■川根地区

神社の祇園祭、秋祭、初午祭、新嘗祭／三世代ふれあい収穫祭／敬老祝賀会／ピザパーティー／種から育てた花苗を全戸に配布／秋祭り／盆踊り／三合区金平祭礼／盆綱引き

■上野合地区

神社の祇園祭、新嘗祭／盆綱／お田植え祭

■沼前地区

盆綱曳き／元旦祭／神社の祇園祭

■石崎地区

神社の祇園祭、初午祭、秋祭り／献穀祭／お田植え祭／あんばまつり

4-13 地区の特産物がありますか

ア ある イ ない

地区の特産物については、「ある」と回答された区は89区のうち21区であり、全体の約23%という状況である。

図 4-23 地区の特産物（全体）

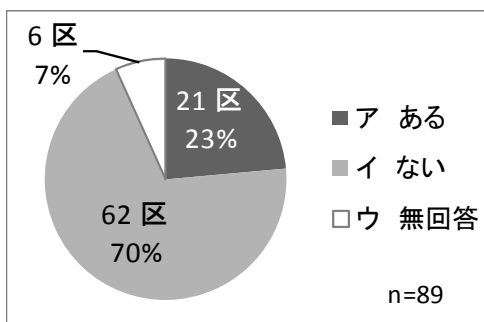
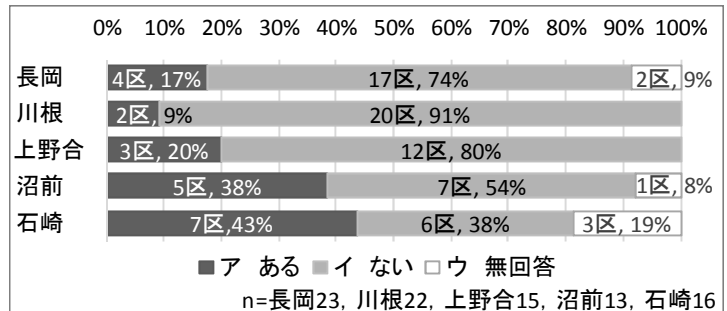


図 4-24 地区の特産物（地区別）



ある場合、どのようなものですか。

【ある場合の主な回答】

農作物（米／人参／さつまいも／じゃがいも／栗／花卉／水菜／トマト／ネギ／ニラ／他全般）

果物（メロン／ブドウ）

魚介類（しじみ／鰻／しらうお／ハゼ）

加工品（メロンの漬物）

4-14 そのほか、どのような資源がありますか

【主な回答】

- ・平坦な台地と涸沼川・涸沼前川に挟まれた肥沃な大地
- ・古くから交通の要所として栄えた歴史ある商店街
- ・北関東高速道路他，道路網
- ・砂金を採っていた場所
- ・地下水，湧水
- ・農産物
- ・畜産物

4-15 地区にあるこれらの資源活用についてどのようにお考えですか

【主な回答】

- ・農作物の有力生産地であり，道路網の整備が進んでいる地帯の特性を利用し既存商店街の活性化及び道の駅のような大規模販売施設
- ・地域外への PR によりイメージアップを図る。
- ・資源を守って行ってほしい。

◆5 地区力の基盤を点検しよう

5-1 役場まで、どのくらい離れていますか 約 Km

役場までの距離について、全体では概ね半数が5km未満という結果である。一方で10km以上という回答は、約13%という状況である。地区別では、役場と各々の地区の距離の位置関係が現れた結果であり、5km未満でみると、長岡地区と川根地区について半数を超えており、比較的役場に近い状況である。一方、石崎地区では10km以上という回答が約43%を占めており、比較的役場に遠い状況とかがえる。

図 5-1 役場までの距離（全体）

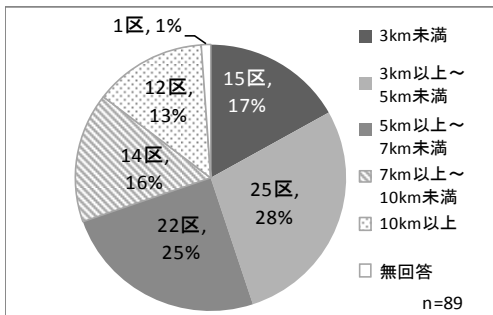
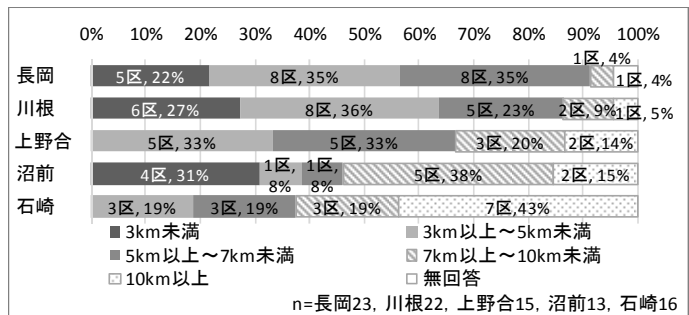


図 5-2 役場までの距離（地区別）



5-2 近くの小学校まで、どのくらい離れていますか 約 Km

近くの小学校について、全体では約6割が5km未満という結果である。一方で10km以上という回答は、約10%という状況である。地区別では、長岡地区について3km未満が約9割を占めており比較的近い位置に小学校がある状況とかがえる。川根地区と上野合地区について、5km未満との回答が約3割程度であり、他の地区に比べ小学校までの距離が離れている状況とかがえる。

図 5-3 近くの小学校までの距離（全体）

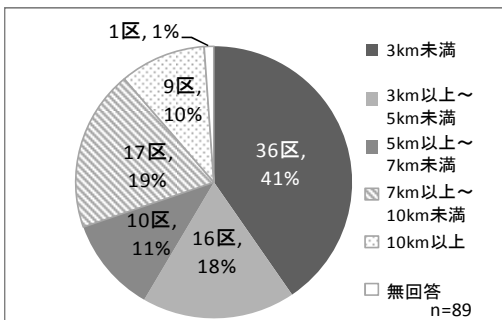
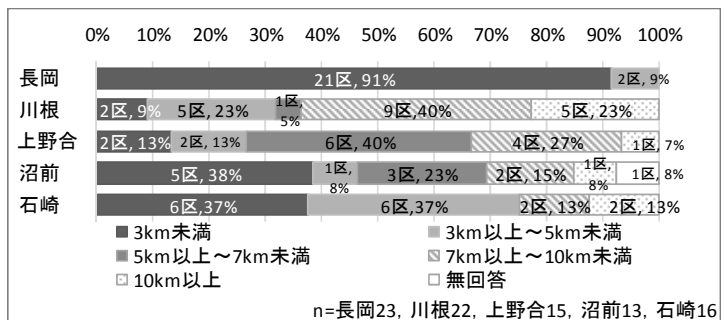


図 5-4 近くの小学校までの距離（地区別）



5-3 近くの病院，診療所まで，どのくらい離れていますか

約 Km

近くの病院，診療所について，全体では約7割が5km未満という結果である。一方で10km以上という回答は，約9%という状況である。地区別では，長岡地区について3km未満が約96%を占めており比較的近い位置に病院，診療所がある状況とかがえる。上野合地区，沼前地区について，5km未満との回答が約5割程度であり，他の地区に比べ病院，診療所までの距離が離れている状況とかがえる。

図 5-5 近くの病院，診療所までの距離（全体）

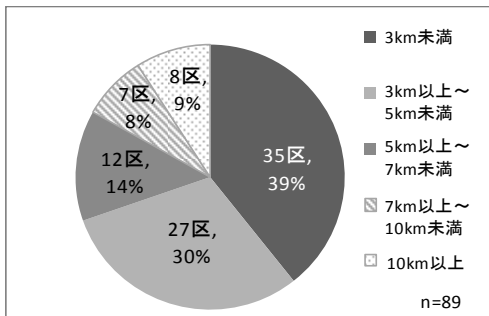
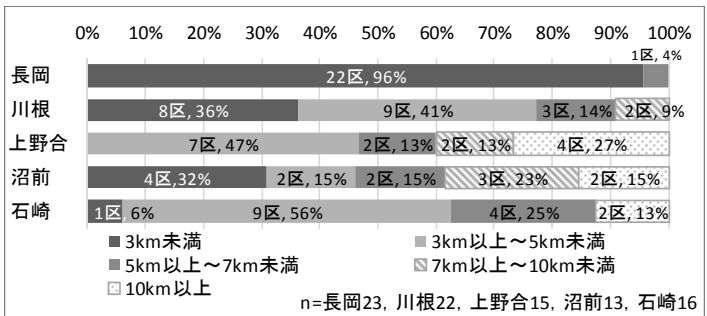


図 5-6 近くの病院，診療所までの距離（地区別）



5-4 普段買い物をする場所まで，どのくらい離れていますか

約 Km

近くの普段買い物をする場所について，全体では約6割が5km未満という結果である。一方で10km以上という回答は，約10%という状況である。地区別では，長岡地区について3km未満が約87%を占めており比較的近い位置に普段買い物をする場所がある状況とかがえる。上野合地区について，3km未満は無く，5km未満との回答が約20%であり，他の地区に比べ普段買い物をする場所までの距離が離れている状況とかがえる。

図 5-7 普段の買い物の場所までの距離（全体）

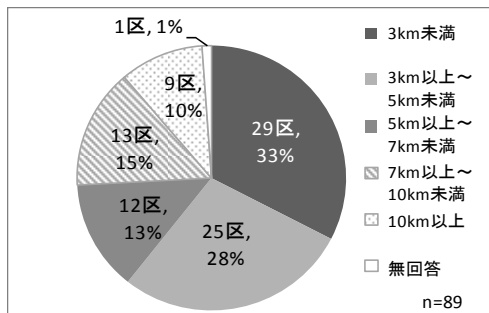
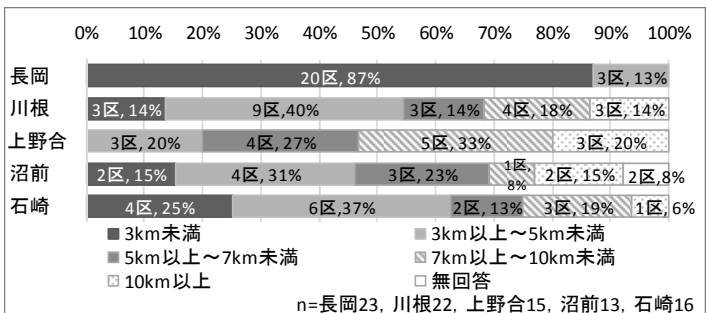


図 5-8 普段の買い物の場所までの距離（地区別）



5-5 近くにバス停はありますか

ア ある イ ない

近くのバス停について、主要路線国道6号及び主要地方道のみの路線となっているため、全体で見ると「ある」と回答された区は、概ね半数となっている。地区別で見ると、長岡地区においては「ある」との回答が多く、川根地区においては少ない。

図 5-9 近くにバス停（全体）

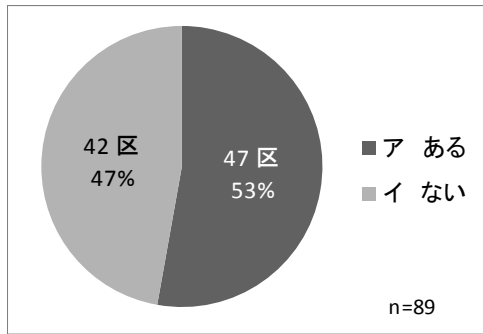
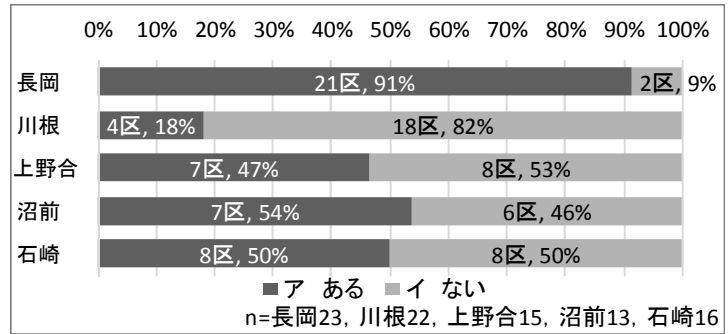


図 5-10 近くにバス停（地区別）



◎地区の環境について：良い点

- | | | |
|--------------------|------|------|
| 5-6 子供が遊べる場所がありますか | ア ある | イ ない |
| 5-7 避難できる場所がありますか | ア ある | イ ない |

地区の環境の良い点について全体では、「子供が遊べる場所」について、「ある」との回答は約 55% であり、「避難できる場所」について、「ある」との回答が約 79% という状況である。地区別でみると、「子供が遊べる場所」については、石崎地区で約 69% と最も高い状況である。また、「避難できる場所」について「ある」との回答は何れも約 75% から 85% と、比較的高い状況である。

図 5-11 地区の環境：良い点（全体）

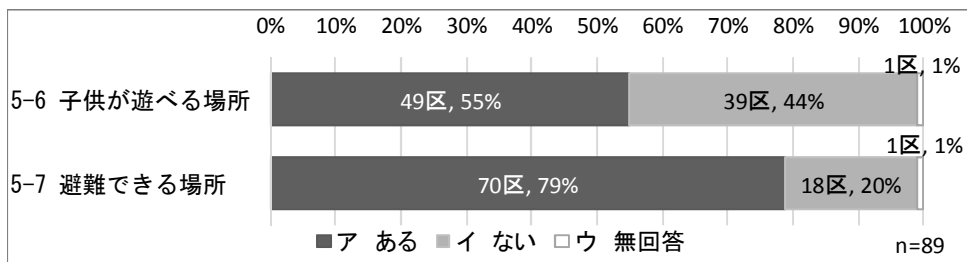
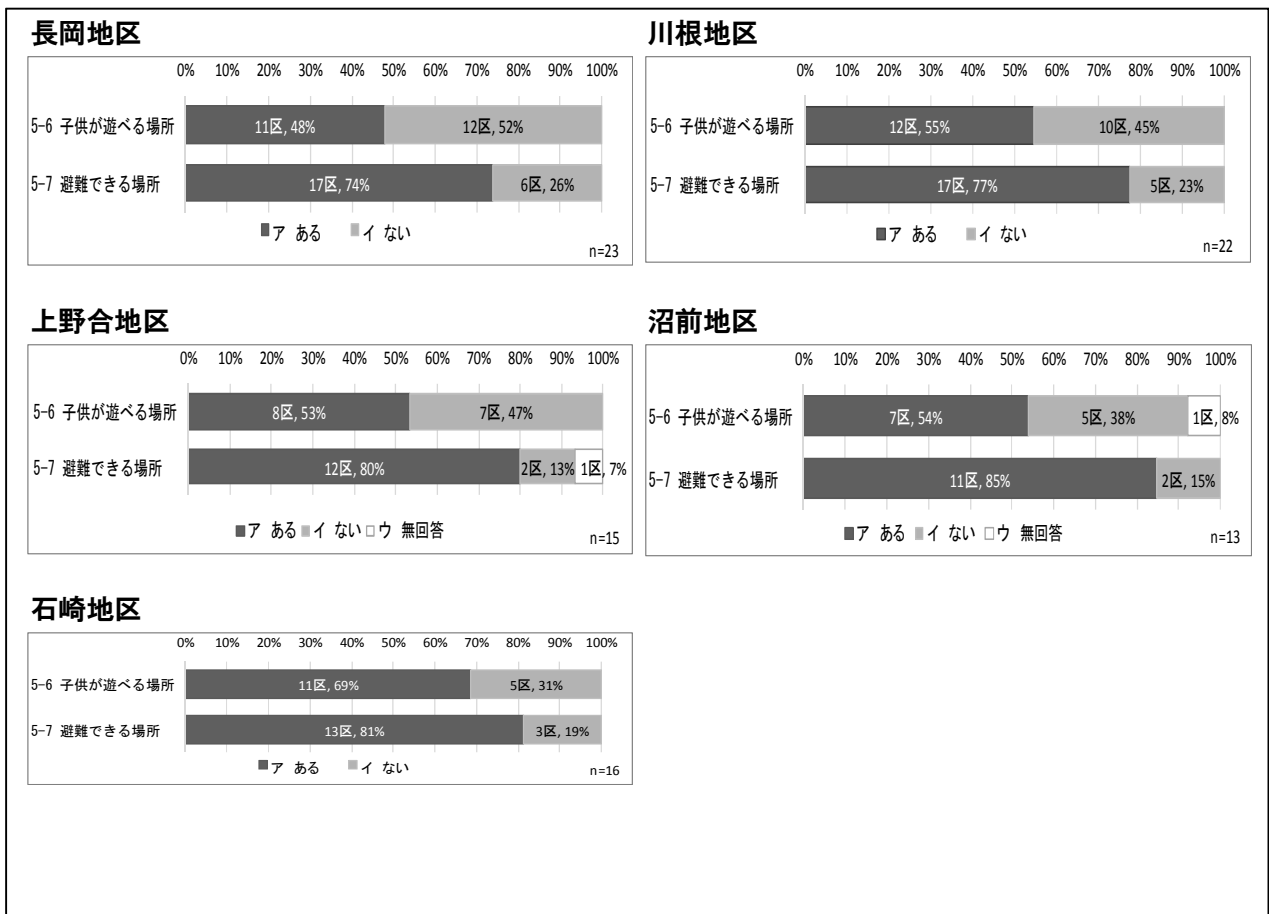


図 5-12 地区の環境：良い点（地区別）



◎地区の環境について：悪い点

5-8	空き家がありますか	ア	ある	イ	ない
5-9	災害の発生しやすい場所がありますか	ア	ある	イ	ない
5-10	交通事故が起こりやすい場所がありますか	ア	ある	イ	ない
5-11	見通しの悪い場所がありますか	ア	ある	イ	ない
5-12	少量の雨で水かさの増す川がありますか	ア	ある	イ	ない
5-13	そのほか、危険な場所がありますか	ア	ある	イ	ない
5-14	騒音・悪臭のある場所がありますか	ア	ある	イ	ない
5-15	獣害のある場所がありますか	ア	ある	イ	ない
5-16	景観が損なわれている場所がありますか	ア	ある	イ	ない

地区の環境の悪い点について、「ある」と回答した区が特に多い項目は、「空き家について」が約80%、「交通事故が起こりやすい場所について」が約75%、「見通しの悪い場所について」が約81%である。地区別においても同様の傾向である。

図 5-13 区の環境：悪い点（全体）

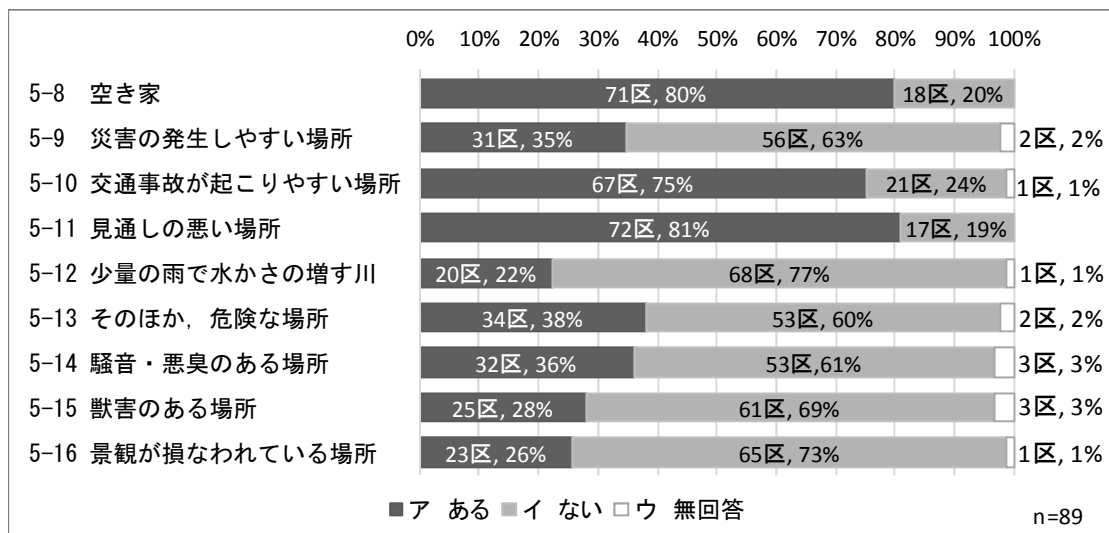
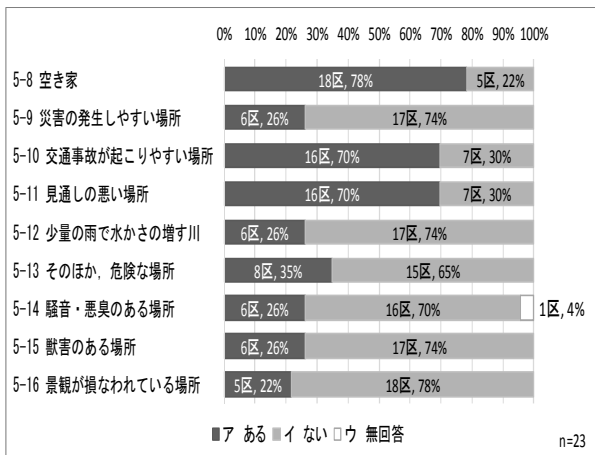
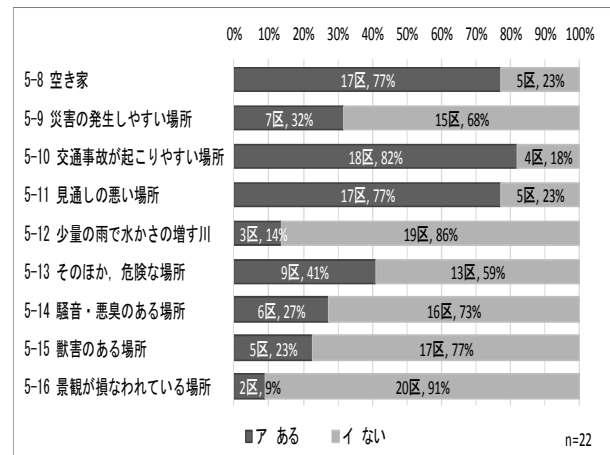


図 5-14 区的环境：悪い点（地区）

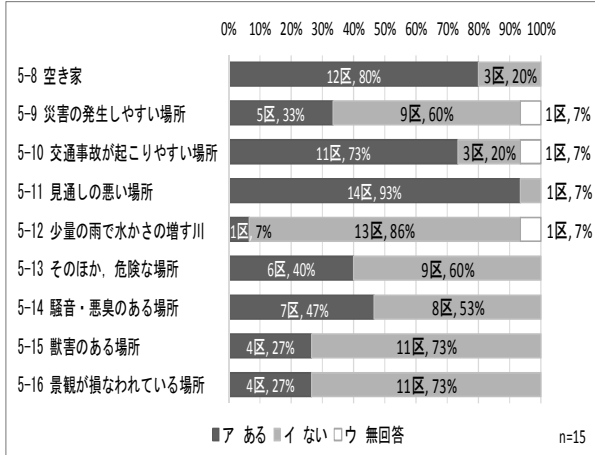
長岡地区



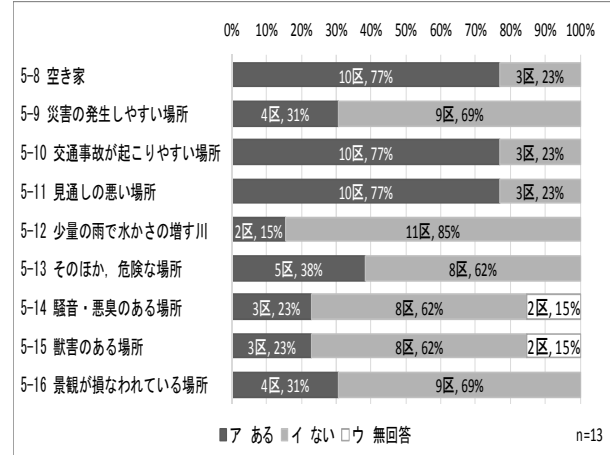
川根地区



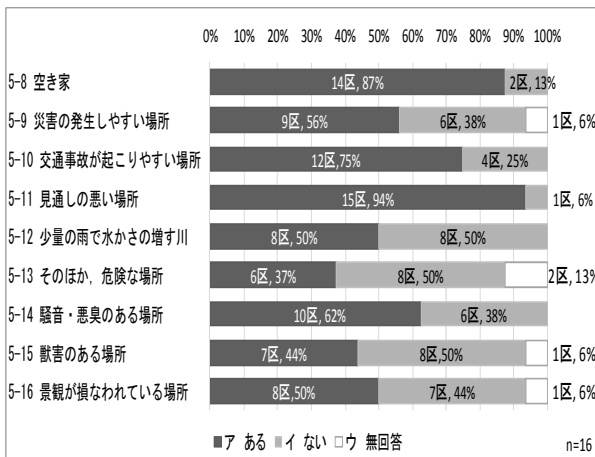
上野合地区



沼前地区



石崎地区



◎地区の社会基盤について

5-17 道路・農道で荒れている場所がありますか	ア ある	イ ない
5-18 水路・側道等で荒れている場所がありますか	ア ある	イ ない
5-19 農地，山林で荒れている箇所がありますか	ア ある	イ ない
5-20 公共施設や建物で荒れている場所がありますか	ア ある	イ ない

地区の社会基盤について、荒れている場所が「ある」と回答した区が特に多い項目は、「道路・農道」が約61%、「水路・側道等」が約62%、「農地，山林」が約75%である。

図 5-15 地区の社会基盤（全体）

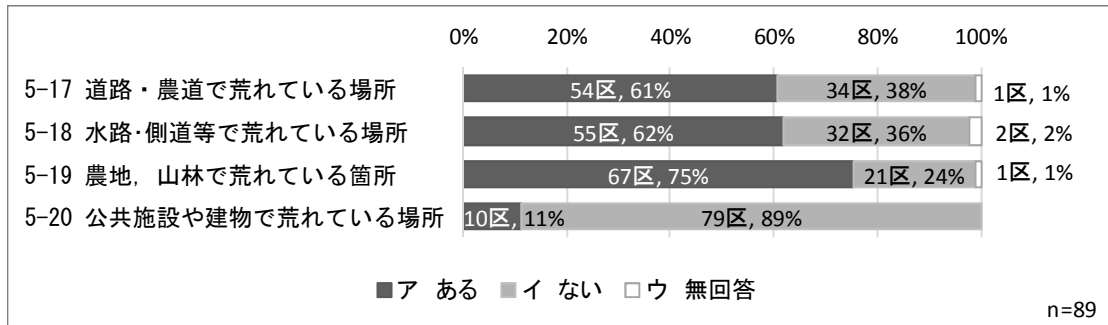
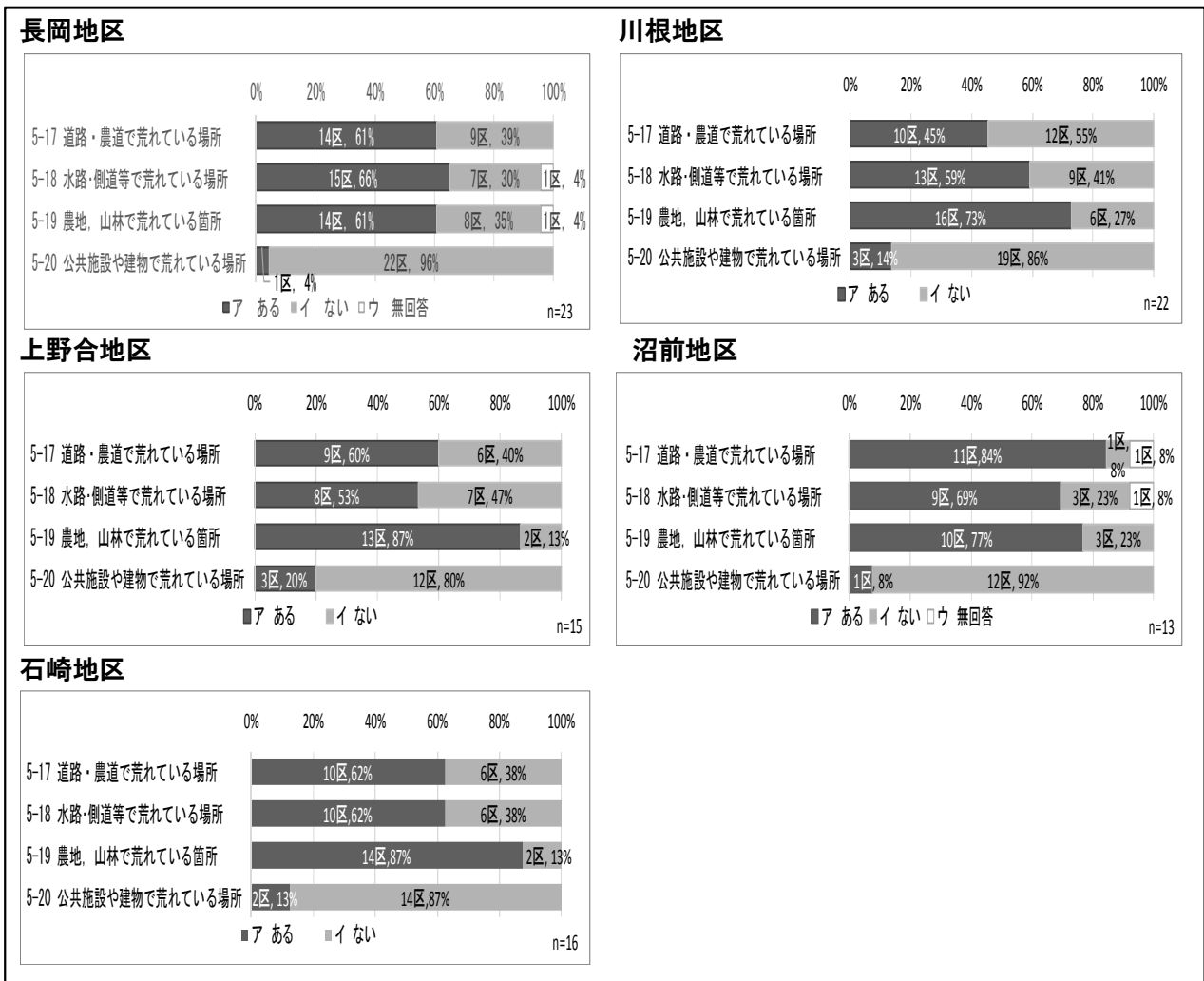


図 5-16 地区の社会基盤（地区別）



◆6 地区力の自立性を点検しよう

6-1 地区内にいくつの事業所がありますか

ア 1~3 イ 4~6 ウ 7~10 エ 11~15 オ 16~20 カ 21以上

地区内において事業所の数が「1~3」箇所あると回答された区は89区のうち49区であり、町内の約55%の区で事業所が3以下であることがわかる。一方、11箇所以上あると回答された区は、全体の3区のみであり、全体の約3%と低い状況である。

図 6-1 区内の事業所（全体）

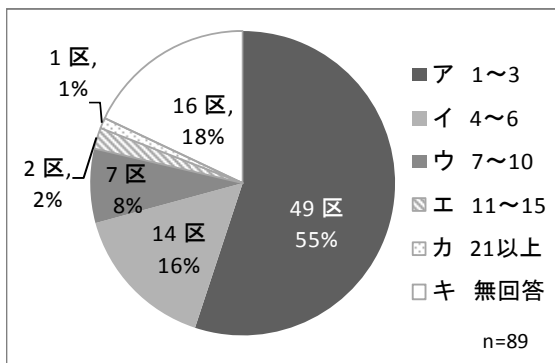
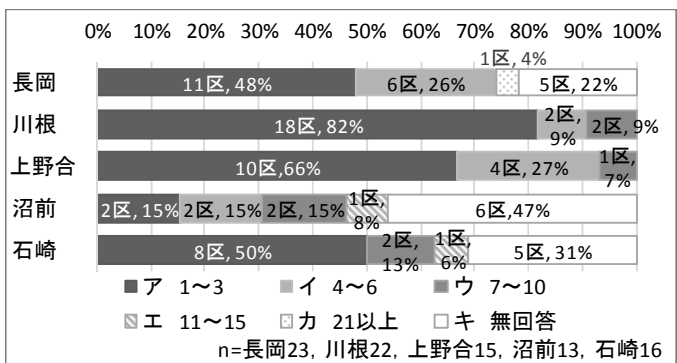


図 6-2 区内の事業所（地区別）



6-2 地区ならではの産業（職場）はありますか

ア ある イ ない

地区ならではの産業について、「ある」と回答した区は12区であり、全体の約13%と低い状況である。地区別でみると、石崎地区は他の地区と比べ若干多い傾向である。

図 6-3 地区ならではの産業(職場)（全体）

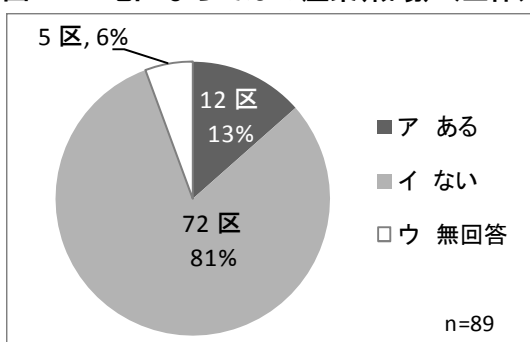
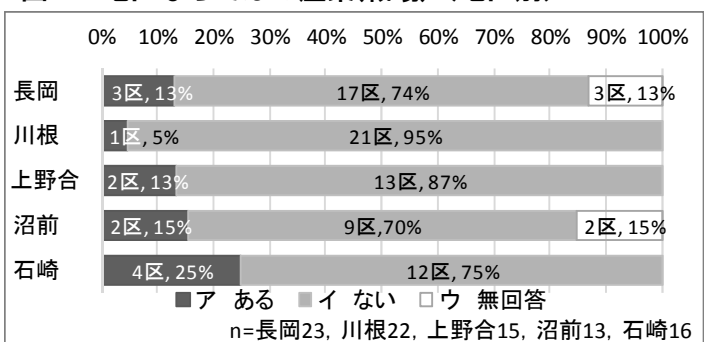


図 6-4 地区ならではの産業(職場)（地区別）



ある場合それは何ですか。

【ある場合の産業に関する主な回答】

鉄工所／ガス会社／歯科医院／木工所／自動車修理工場／商店／牧場／養鶏場／建設会社／農産物の共同出荷場／米穀流通業／直売所／運送業（メロン・野菜）／人材派遣会社／建設業（土木・舗装）／鋳工場／金アミ柵の製造／畜産業／しじみ漁／農業

6-3 地区における農林水産業はどのような状況ですか

- ア 後継者が育成されている イ 経営が安定している
 ウ 高齢化している エ 人手不足になっている オ その他（ ）

地区における農林水産業の状況について、「高齢化している」との回答は77区であり、「人手不足になっている」との回答が、24区という状況である。

図 6-5 農林水産業の状況（全体）

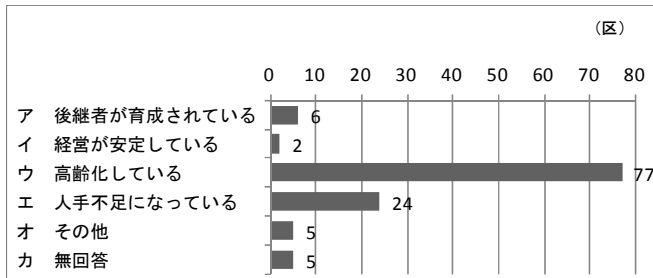
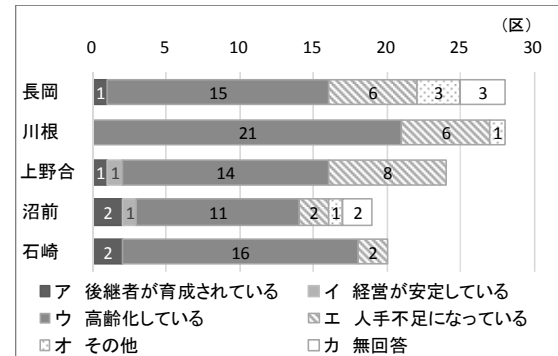


図 6-6 農林水産業の状況（地区別）



【その他の主な回答】

耕作移管や休耕で兼業農家が多い。／専業農家の後継者がいない。／産業が成立たない。／後継者は個々の農家で育成されている。

6-4 地区における地区の住民が経営している商工業はどのような状況ですか

- ア 後継者が育成されている イ 経営が安定している
 ウ 高齢化している エ 人手不足になっている オ その他（ ）

地区における区の住民が経営している商工業の状況について、「高齢化している」との回答が37件と最も多く、次いで「後継者が育成されている」が、21件という状況である。区別では何れも「高齢化している」の回答が多いが、中でも川根地区と上野合地区で「高齢化している」の回答が多い状況である。

図 6-7 住民が経営している商工業（全体）

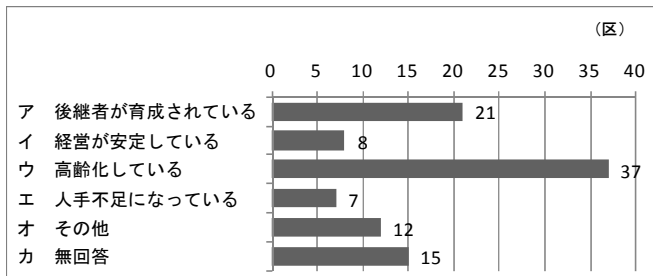
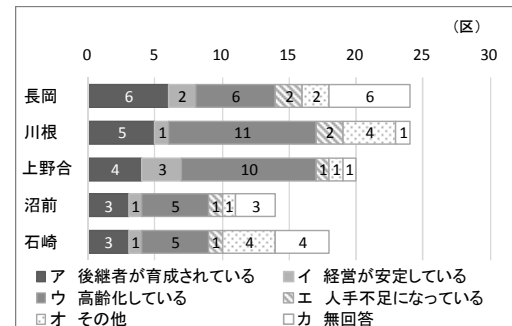


図 6-8 住民が経営している商工業（地区別）



【その他の主な回答】

商店会においても、後継者不足である

6-5 遊びやレジャー等で、他の地区から人は訪れていますか

ア いる イ いない

遊びやレジャー等で、他の地区からの訪問者の状況について、「いる」と回答した区は20区であり、全体の約23%という状況である。地区別では、石崎地区が他の地区に比べ「いる」の回答が若干多い傾向である。

図 6-9 レジャー等で他の地区からの訪問者（全体）

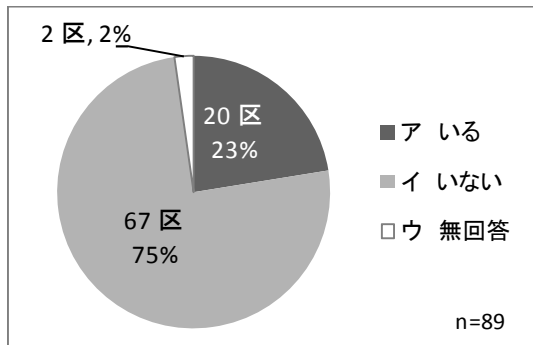
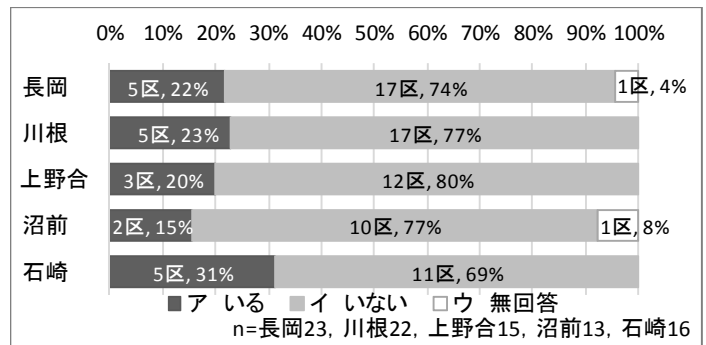


図 6-10 レジャー等で他の地区からの訪問者（地区別）



いない場合の理由をお書きください。

【いない場合の主な理由】

- ・遊びやレジャーをする場所がない
- ・住宅専用地区である
- ・人を集めるきっかけを作りたいが、アイデアがうかばない
- ・ホテルなどが無い
- ・昔は釣り人が来ていたが、高齢化している
- ・リピートにつながっていない

6-6 近隣の市町村へ買い物や病院に出かけるとしたら、主にどちらに出かけますか。また、どのくらい時間がかかりますか

買い物 ア 主な市町村名（ ） イ 所要時間（ 分）

病院 ア 主な市町村名（ ） イ 所要時間（ 分）

買い物や病院に出かける場合に行く主な市町村は、「水戸市」と回答された区が多い状況である。

【各地区の主な行動圏域】

■長岡地区

買い物：主な買い物先は水戸市が多く次いで茨城町，その他石岡市という状況である。所要時間については最短で3分最長で30分という状況である。

病 院：主な通院先は水戸市が多く次いで茨城町，その他笠間市という状況である。所要時間については最短で3分最長で45分という状況である。

■川根地区

買い物：主な買い物先は水戸市が多く，その他，茨城町，小美玉市，笠間市という状況である。所要時間については最短で10分最長で60分という状況である。

病 院：主な通院先は水戸市が多く次いで笠間市，その他茨城町という状況である。所要時間については最短で10分最長で40分という状況である。

■上野合地区

買い物：主な買い物先は水戸市が多く次いで小美玉市，その他，石岡市，笠間市，鉾田市という状況である。所要時間については最短で10分最長で60分という状況である。

病 院：主な通院先は水戸市が多く，その他茨城町，小美玉市，石岡市，笠間市という状況である。所要時間については最短で10分最長で40分という状況である。

■沼前地区

買い物：主な買い物先は水戸市が多く次いで鉾田市，その他茨城町という状況である。所要時間については最短で6分最長で50分という状況である。

病 院：主な通院先は水戸市が多く，その他茨城町，鉾田市，筑西市という状況である。所要時間については最短で6分最長で60分という状況である。

■石崎地区

買い物：主な買い物先は水戸市が多く，その他茨城町という状況である。所要時間については最短で10分最長で60分という状況である。

病 院：主な通院先は水戸市が多く，次いで茨城町という状況である。所要時間については最短で10分最長で60分という状況である。

◆7 地区力の将来性を点検しよう

◎将来の地区の人口、世帯数について

- 7-1 10年後を考えたとき、地区の人口はどのようになっていると思いますか
 7-2 同様に、地区の若者（15～39歳）数はどのようになっていると思いますか
 7-3 同様に、地区の高齢者（65歳以上）数はどのようになっていると思いますか
 7-4 同様に、地区の世帯数はどのようになっていると思いますか
 7-5 同様に、高齢者だけで生活する世帯数はどのようになっていると思いますか
 回答選択項目：ア 増えている イ 減っている ウ 変わらない

将来の地区の人口、世帯数について、「増えている」との回答は、「地区の高齢者（65歳以上）数」で約86%、「高齢者だけで生活する世帯数」が約90%と高い状況である。一方、「減っている」の回答は「地区の人口」が約91%、「地区の若者（15～39歳）数」が約92%、「区の世帯数が約79%」と高い状況である。これらの事から今後の高齢化の傾向を懸念されている方が多いことがうかがえる。地区別でも、全体の結果と概ね同様の傾向である。

図 7-1 将来の区の人口、世帯数（全体）

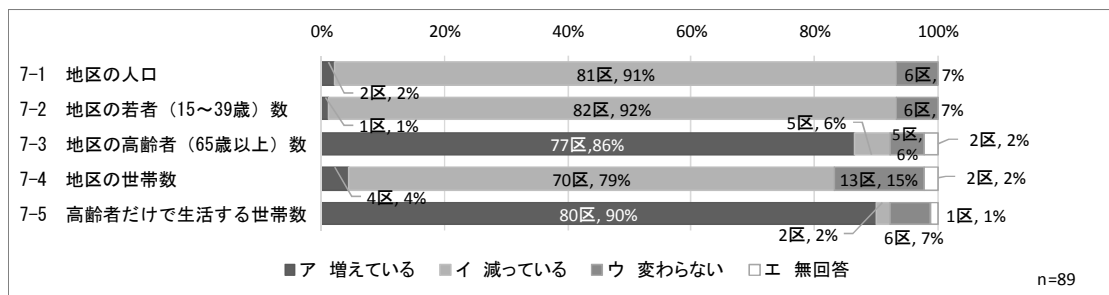
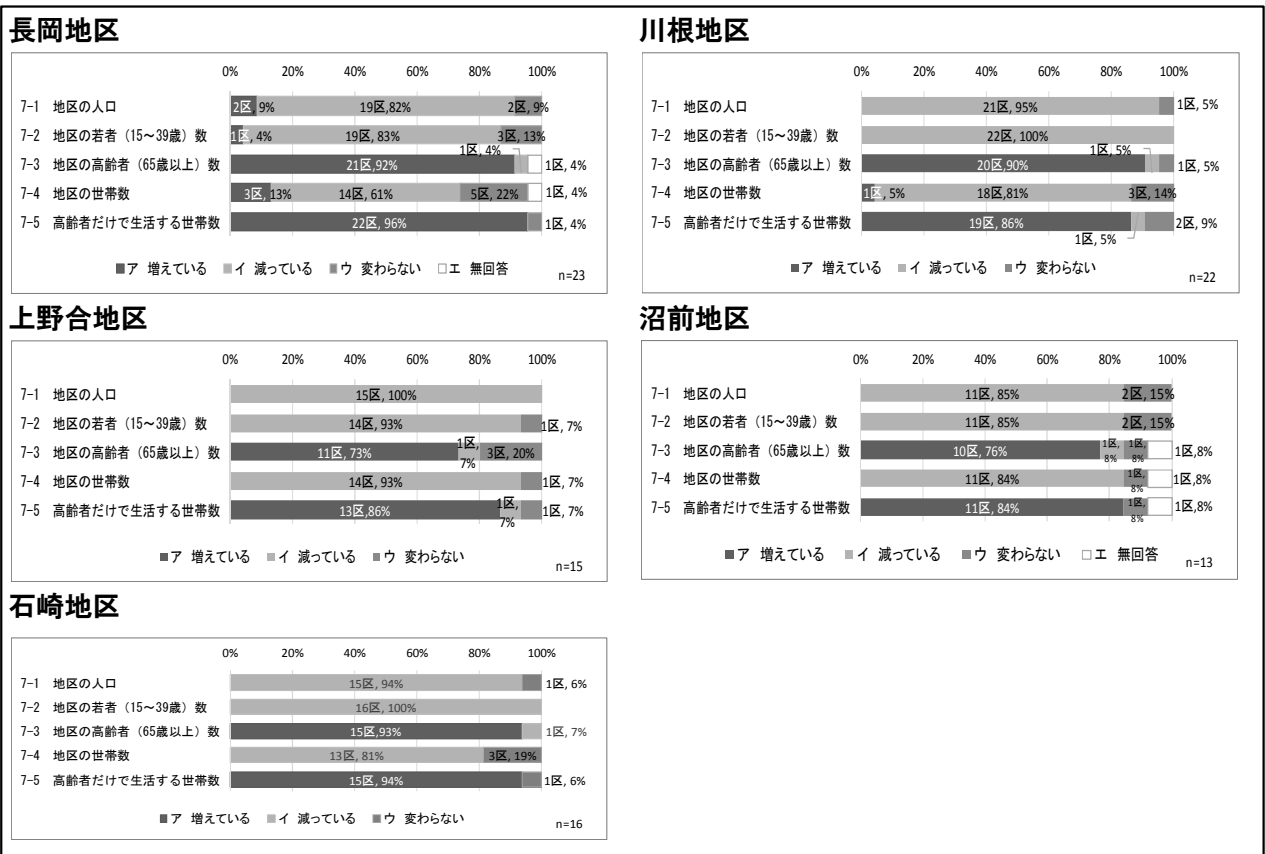


図 7-2 将来の区の人口、世帯数（地区別）



7-6 地区において、現在は地区の外にいるが、将来戻ってきそうな人（家族等）はどのくらいいますか

ア 0人 イ 1~3人 ウ 4~8人 エ 9人以上 オ 不明

地区外から将来戻ってきそうな人について、全体で回答イ、ウ、エを加えると約半数の回答について戻ってくる人たちを把握できている状況とかがえる。地区別でみると、上野合地区で区外から戻ってくる人たちがいる傾向の回答が多い状況である。

図 7-3 区外から将来戻ってきそうな人（全体）

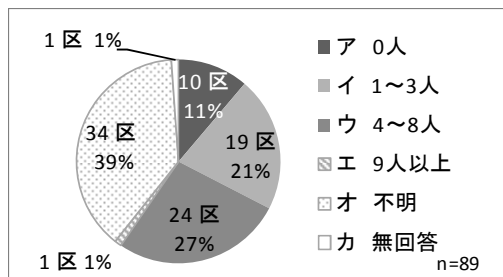
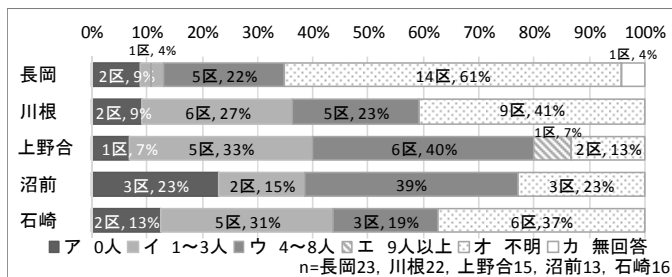


図 7-4 区外から将来戻ってきそうな人（地区別）



7-7 今後、地区から他の地区等に転出する人は増えそうですか

ア 増える イ 増えない ウ 変わらない エ 予測できない

地区からの転出について、全体で約65%が「予測できない」という結果である。「増える」との回答は約13%と低い状況である。地区別でみると、石崎地区について「増える」との回答が約31%であり、他に比べ高い傾向である。

図 7-5 他の区等に転出する人（全体）

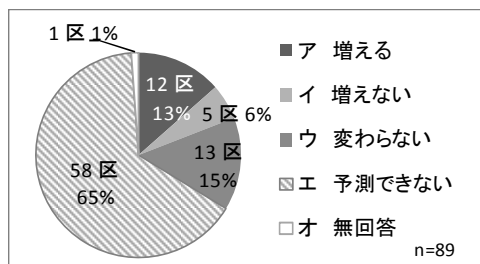
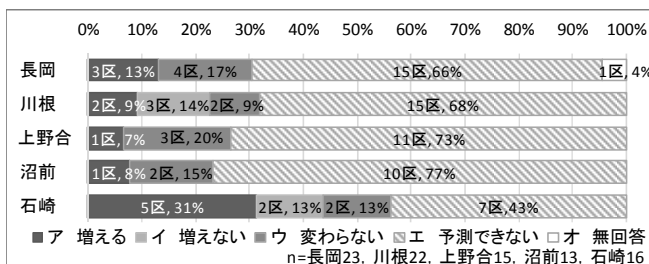


図 7-6 他の区等に転出する人（地区別）



7-8 今後、他の地区から本地区等に転入してくる人は増えそうですか

ア 増える イ 増えない ウ 変わらない エ 予測できない

他の地区からの転入について、全体で約48%が「予測できない」という結果である。「増える」との回答は約1%と低い状況である。地区別でみると、石崎地区について「増えない」との回答が約56%となっており、他に比べ高い状況である。

図 7-7 他の地区から転入してくる人（全体）

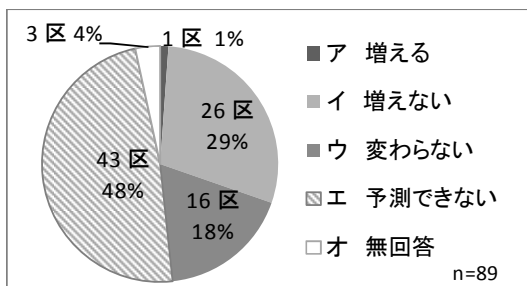
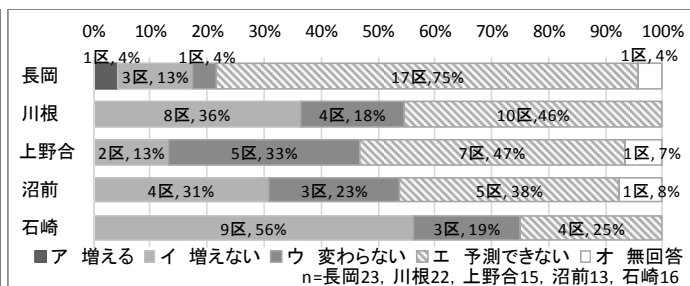


図 7-8 他の地区から転入してくる人（地区別）



7-9 他の地区から本地区への転入世帯に対し、区として決まり事（区費等）はありますか

ア ある イ ない

転入者への決まりごとについて、「ある」と回答した区は69区であり、全体の約78%という状況である。地区別でみると、「ある」との回答は、特に石崎地区と長岡地区で高い状況である一方で、上野合地区のみが約47%と他の地区に比べ低い状況である。

図 7-9 転入者への決まり事（全体）

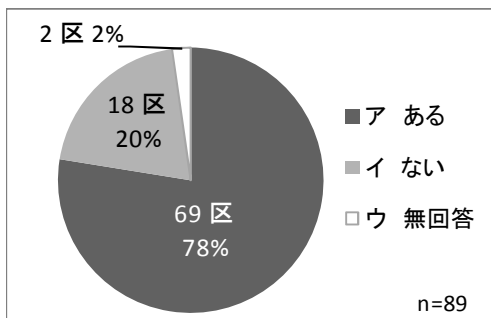
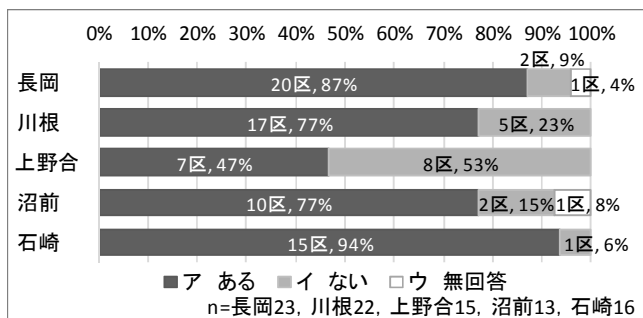


図 7-10 転入者への決まり事（地区別）



7-10 今後の人口の変化などにより、現在の地区の活動・作業について、将来的にどのような状況が予想されますか

■長岡地区からの回答

- ・高齢者の増加とともに若い世代が家を離れて後を継がない人が多くなっている。さらに若い世代の人は、地区の行事等に関心がないため運営が困難である。
- ・大きな変化はないと思う。
- ・工業地域で一部住宅地であることから、住宅の建設は出来ない状況下にある。よって、住人が増加せず、さらなる高齢化が進行する。
- ・高齢化に伴う人手不足。世帯数減による資金不足。
- ・老々介護世帯の増加。それに伴い、交流や親睦等の行事が出来なくなる。
- ・区役員（区長・副区長・会計）、町委嘱役職（民生委員・交通安全母の会委員、統計調査委員等）のなり手が少なくなり、年々人選が困難となって来ている。従って、区町を上げて長期育成仕組みの確立が不可欠になりつつある。又、これらを容易化する為の各役職支援体制の強化と、作業容易化仕組改善及びマニュアル化等、より短時間且つ簡単に役割が実施出来る様に、町・区役職者サポート体制の充実と仕組み改善が急務である。
- ・少子高齢・農業後継者がいない。
- ・リーダーになれるような人材がいない。将来、集落の衰退が予想される。
- ・高齢化が著しい団地ですが、今年の新小学校1年生が11人というのは6～7年ぶりで喜ばしい事です。団地内自治会活動を活発継続させ、現在の世帯主の子供達が戻ってくることを願う。
- ・高齢化により、現在活動している内容が縮小、あるいは廃止となり、老々介護世帯が増える。
- ・地区内の農家世帯より、非農家世帯が多くなり都市化になっていくと思われる。
- ・人口の減少と高齢化により諸活動、作業等に参加出来る人が制限されることを懸念している。
- ・高齢化により、活動・作業が無理。
- ・近い将来に少子高齢化となり、人口減少。超高齢化により農業（兼業を含む家庭菜園）も減少し、農地は単にトラクターによる畑堀雑草防止になると思う。
- ・住宅団地として衰退していく可能性大きい。住民高齢化が進む。全体での清掃作業等が困難になる。
- ・空き地の除草作業が区民で出来なくなり業者等に依頼。

■川根地区からの回答

- ・共同作業を行う人々の高齢化により継続が困難になるのではないかと。
- ・耕作放棄地が増える。
- ・少子高齢化に伴い各種行事等を実施するにあたり大変苦慮すると思われます。
- ・高齢者が多くなり、区・地区の共同作業・事業などがなくなる。（人手不足）
- ・世帯数が減って参加者が少なくなる。
- ・高齢化により奉仕作業がむずかしくなる。
- ・①祭事などの運営は縮小、中止されるようなことになるのでは？②諸地区作業などは高齢化・人口減少で回数を減らしたり、規模を縮小せざるを得ない。③旧態依然とした価値観と現状打解をめざす考え方とのぶつかり合いをどの様にして融合し、まとめていくか難しい課題である。

- ・現在、区民によって実施されている堤防の除草作業については、高齢化の進行に伴い、実施困難となることが予想される。
- ・高齢化が急激に進み、65歳以上の家族が増えてくることが想定され、また、独身者（40歳以上）が多く、小学生が0になる状況に近い将来来てしまう。活動作業に対して困難を来たすことになる。
- ・区の過去の歴史と未来に対し、住民の責任感が欠乏する。
- ・全戸数が参加する今の体制を維持することはむずかしい、出来る人に行ってもらおう。
- ・出来なくなる。
- ・高齢化に伴い、廃止・制限される作業・行事が出てくると思う。（例、祭礼・除草作業・道路への碎石敷他）
- ・人がいなくなり活動、作業等は維持できなくなる。
- ・環境維持活動（缶ひろい・草刈り等）は高齢化により参加者が少なくなり環境の悪化が心配される。
- ・高齢者が増え、若者が少ない為、出来なくなる。
- ・今後10年くらいは継続すると思う。
- ・高齢者が多くなり活動作業については大変になる。

■上野合地区からの回答

- ・あらゆる活動が困難になる。
- ・地区の高齢化がすすみ、事業活動が縮小するものと思われる。平成26年度より子ども会が解散。平成27年度より青年会が機能停止。
- ・高齢化。
- ・高齢化により草刈り等、作業が円滑にいかない。
- ・何も出来ない。
- ・高齢化・人口減少・共稼ぎ等により、昼間の活動作業は制約を受ける事が考えられる。
- ・現在と同じだと思う。
- ・高齢化してきている。活動とか少人数になってしまう。
- ・現状を維持できれば良いのですが、厳しい選択をする時が来ることが予想される。
- ・現在より2割以上の人口減になった場合は運営活動資金や組(班)の構成の見直し、祭や各行事の改廃といった集落活動の軌道修正が予想される。
- ・区の活動に協力するものが減少する。
- ・小障（こさ）払いや葬儀の対応などの負担が大きいなどの理由で区から脱退する人が増えるのではないかと危惧している。

■沼前地区からの回答

- ・各種団体のリーダーになる人がいない。
- ・高齢者世帯・共働き世帯の増加による参加者の減少傾向。
- ・人口減少・高齢化に伴い活動は縮小化し、作業も維持することが不可能になる。過疎化（活動人口不足）
- ・高齢者による運営等。
- ・草刈りや空き缶拾いなどができなくなる恐れがある。
- ・地区の活動や作業において簡素化、または、省略等が進むと予想される。
- ・道路の草刈り等、肉体労働が大変ではないかと思う。
- ・活動できなくなる。

■石崎地区からの回答

- ・人口の減少により、農地等の草刈りや夏祭りが大変である。特に自営消防団が少なくなり、点検・訓練等も数が減っている。
- ・集落活動においては、子ども会・若年・高齢者等の団体としての活動、コミュニティ活動を密にしていかないと連帯感が薄れてしまう。
- ・各世帯の状況（農業や他へ勤務）により、自助努力をしていく。
- ・人口の変化が若干あっても現在の活動は決して多くないので継続されると思う。
- ・2年に1回の盆踊大会も中間年齢が少なくなっているの、これからは難しくなるのではないか。
- ・冠婚葬祭もさらに簡素化されていくと思われる。
- ・衰退すると思う。
- ・若年層の転出、高齢化が進み、祭りが縮小し、共同作業も困難になってくる。
- ・多面的機能支払交付金制度を活用して地区の環境整備に努める事によって人口維持を図りたい。
- ・高齢化により地区の活動・作業の頻度は少なくなる。
- ・高齢化による人手不足、重労働労力負担となるのでは。
- ・農業及び除草作業など作業が出来なくなる。（機械を動かす事が出来ない）（60代一使用OK、若い人一機械になれてない）
- ・高齢化及び区民数の減少により地区内の活動が思うようにできなくなると思われる。
- ・高齢化に伴う集会や活動への参加者の減少。
- ・高齢者で活動作業をしなければならない。
- ・高齢者の増加に伴い、田畑の放棄、地区の活動が難しい状況になる。

7-11 そのほか、地区の将来についてどのようにお考えですか

■長岡地区からの回答

- ・どの地区も人口の減少が考えられ、地区の行事（特に伝統行事）が困難になり隣接している区との統合も考えられる。
- ・地区内の区民同志の交流が深まる様な機会を多くしたい。
- ・地区は分譲地で一戸当り敷地 60～70 坪で居住空間が狭隘であることから二世帯居住は不可能で人口流出が予測される。
- ・住民が集まれる集会場の様な施設を設けなければ、現状の通り各班の交流がなくバラバラの状態が続き、地区としての活力は失われる。
- ・7-10 を踏まえた対策を考えていかななくてはならないと思うが、若い世代があまりにも少ない。世話人を育てることが急務。
- ・町の人口が減っていくので近隣の市などと合併することを望んでいる。
- ・最も大切なのは、町・区に住みたいと思って頂ける方々を増やす為に、どのような方策を採り且つ長期に亘る弛まない努力を町・区を上げて実行するかで、其の為に以下の事業を重点施策として是非、実施頂きたい。茨城町は徹底的に安全安心な町である事を目指す。特に通学路安全確保を町最重点施策とする。具体的には町・学校・PTA・地区子ども会後援会及び中学校育成会・区役員の 5～6 者が通学を必ず年 1 回は指差確認しながら歩いて問題の箇所を見付け、その結果を町創りに反映させ名実共に安全安心な町にしていく。これを町の重点施策に入れて頂きたい。茨城町をとっても楽しい町にしていく。町興しの重要アイテムとして各地民俗芸能の普及と興隆に努める。小鶴祇園祭は茨城町でも傑出した人出（過去実績 3000～8000 人）が有る訳で、これを新たに始めるとすると費用時間共膨大なものが必要になる。然るに地区住民の弛まない過去からの継続努力で、既にこの様なチャンスを獲得出来ているのであるから此れを町一体となって更に活性化する事により、町に輝きが蘇る。従って、地域興しの要諦として是非地区伝統行事を全町を上げて今一層支援する仕組を構築して頂きたい。其の為歴史の発掘に力を注いで頂きたい。小鶴区 170～200 年以前の古文書が発見されたので、町を上げてその修復に力を貸して頂きたい。
- ・空き家の増加、農業の後継者不足、未婚者の増加等による集落の衰退が予想される。何とかしたいがどうしたら良いか分からない。
- ・水戸市に近く、大型商業施設も近い、静かな団地（通過する車がない）であり、空き地も無くなる事と思う。
- ・介護が必要にならない様、健康寿命を延ばす必要がある。高齢者の交流を盛んにし「話す」「食べる」「歩く」の機会を多く作っていききたい。
- ・地区内のさくらの郷推進事業が進み、住宅が増え、人口増と都市化が進み、医療・福祉・商業施設のバランスのとれた理想的な地区に発展して行くものと思われます。茨城町でこの地区が最も理想的な地区になると思われます。
- ・後継者が少ない。
- ・大戸地区は医療センターの設置とそれに伴う桜の郷等による人口・住宅増等に大きく変化したが、今後、国・県などの政策によらなければ土地・住宅等に変化は見られないと思われます。個人間による土地売買は少ないと思う。

- ・現在の住民がいなくなった後、次世代が後を継ぐという家庭は少ない。近辺に職場がなければ子供達のリターンは困難であり、空き家・空き地が増える。
- ・回りが開けてきているので、その影響で当団地も若い方が来てくれるかもと思っている。又、高齢者が安心して歩ける地域作りをやりたい。

■川根地区からの回答

- ・商店も学校もない所に子育て世代は来ない。跡継ぎがいなくなった世帯から消えていくことになる。生活拠点と活動拠点（商店街や学校）を結ぶ公共交通がないかぎり長く生活する方々は増えない。
- ・担い手不足。
- ・今後ますます少子高齢化が進み区として活力がなくなるのではないかと心配している。町の発展なくして区の発展は無いと思うので町は活性化のため全力投球をしてほしい。
- ・現状維持できると良いと思う。
- ・小さな集落であるが、住人同士の横のつながりが薄れつつある。日頃の交流する場面がものすごく減ってきている。隣同士でも何カ月もの間、姿を見ない、声も掛け合うことも無いのが現状である。このような状況にあって、人が集まる・笑う・楽しむ。そんなところを少しずつ増やす努力が必要だと感じている。一方で、何もしないでほしいと思う人も存在する。そういう動きの中から住民同士で意見を述べあい、地区のことを考えた行動プランを立てて実践できたらと思う。
- ・地区全体の協力体制で高齢者をいたわりながらお互いが助け合いの精神で活動を展開すること。区として諸々の活動を計画し、コミュニケーションの場を作り、共有を深めることが重要となる。
- ・自分の味方になってくれる人材を育成し、運命共同体を一日も早く作ること。
- ・高齢世帯（自力での生活が難しい）の比率が極端に増える事に対して支援する体制・制度が作れるかどうか。
- ・高齢者だけの団地になってしまう。
- ・昭和の後半頃から生活様式の都会化が進んだことと、平行して近所との付き合い交流が少なくなりつつあり、地区にどんな人たちが住んでいるのか分からない人も多い。元々保守的な農村地帯であり、今後もこの傾向は続く。地区の人たちの交流の場、機会をどの様にして作り、コミュニケーションを高めていくか、若い世代の人達の参加を求めて検討していきたい。
- ・人口・世帯は減少するが、少ない者で創意工夫して存続する。
- ・農地面積はあるが、若者が集まる場所が無い為、将来の見込み無し。
- ・小さい集落ですが、皆さんの協力が得られ、又、後継者がいる家庭が多いのでこのまま継続していくと思います。
- ・後継者はいるが結婚されている方が少ないので将来の予想がつかない。

■上野合地区からの回答

- ・若い人達の意見も取り入れ、生活改善等をはかり、困った時には互いに助け合いをし、皆さんが明るい生活を送れるような地区にしたい。
- ・限界集落になる可能性が大である。
- ・現状を維持していきたい。
- ・空き家が増える。高齢者が増える。
- ・現状のあるがままで細々と息長く継続できれば良いと考えています。そのうち、農村部に光が当たる時期が来ることを期待している。
- ・戸数は減るが行事などは続くと思う。
- ・人が高齢化してくる。地区のまとまりがなくなってしまうのが心配される。
- ・30代の世代にリーダー的な人がおり、希望があると思われるが、40～50代の独身者が多く心配である。
- ・当地区は住民（戸数）の数と比較すると、受益面積が大きい。そのほとんどが農振地域の用途指定を受けている地区である。その関係で跡継ぎが居ない、居ても帰って来ない事情を抱えている超高齢者は家計が苦しくとも有益な土地処分が出来ない、もしくは維持管理も思うようにいかないから必然的に耕作放棄地が増えて来ている。又、専業農家の多くは、土地は先祖伝来の財産だから手放すなど御先祖様に申し訳ない。あるいは農地バンク制度の利用などにも一種の抵抗感が有るので、有効な土地利用を浸透させていくには、相当期間の働き掛けを要するだろう。
- ・現状維持で活動してもらいたい。近頃は若者世帯が区の行事に参加しつつあり、とてもうれしい事である。
- ・冠婚葬祭における負担を軽くしていく必要があると考えている。特に大きな負担となっているのが葬儀。これを各区でどうやっているかアンケートをとって一覧表にしていただけないか。例えば、家族葬になって来ているかとか、手伝いをどうしているかなど。
- ・東海第二原発は茨城町も破壊してしまう。町としても廃炉にするよう意志表明をしてもらうことを願っている。避難計画は検討段階において町民に説明すべきである。

■沼前地区からの回答

- ・区内に高齢者が多くなり各種行事に参加する人が減少すると思われる。
- ・10年後には、自作農家数が0に近い数字になると思われる。
- ・人口減少しても生活できる農業政策が必要。企業誘致への取り組みが重要。
- ・国全体人口減による生活？
- ・市街化調整区域のため家を建てるのもなかなか難しい。また、近くの小学校が閉校したため人口が減って過疎になってしまう。
- ・子供が少なく、高齢者が多い状況である中、ほとんどが農業夫婦であり、1人が病気等になると継続が難しい世帯が半数である。今後このような世帯がもっと増えることが予想される。地区の農業も合同で、産業としてできれば将来はあるように考える。
- ・自動車の運転ができなくなった時が心配。
- ・農地が多く、家が建てられないため消える世帯が増えるが、転入する人は見込めないため、このまま農地法が続けば区はなくなる。近くに小学校・中学校のない所に人は住まない。（病院もない。バスもない。）

■石崎地区からの回答

- ・20～30年後には、若い人が少なくなり、高齢者が多くなって、支援介護を空き家等を借りて健常者（高齢者）たちが世話をするようになったらいいと思う。
- ・若者の雇用の場をつくっていかないと集落に若い人がいなくなってしまう。
- ・アンケートの内容について、区内全体として議論していないので班長とのみ議論したが、地区内の将来については認識できない。
- ・農業の後継者が減少し、専業農家から兼業農家への移行が増えて、やがては農業をやらない世帯も出てくると思われる。
- ・若者に結婚を促し人口を増やさないと集落が維持できないと思う。まず人口増が一番。
- ・人口減少に伴い、インフラや環境保全が困難となる。定住人口を維持できるような産業、或いは、都市部への交通手段、小さくとも良いから学校などが整備されればと思う。観光やラムサールなどでは長い目での地域の維持・発展はない。
- ・地区の幹線道路の整備が定住促進には必要と思う。
- ・高齢者が増加し、区としての活動が大変になる。
- ・涸沼の浄化（浄水場等の設置）30年、50年後でも、とにかく「末代の子供達がおよげる」そして「誇れる涸沼」をのぞむ。過疎化まっしぐらであり、大変心配である。水戸市等の合併をのぞむ。
- ・広浦小統合（20年前に統合少子化対策設置したのですが）。つまるところは統合となってしまった。
- ・涸沼浄化のソフト（啓蒙）はおわりにしてハード面（浄化場 etc の設置）をのぞむ。広浦小統合と同様に、涸沼がだめになってしまう。30年～50年後の涸沼を考えてもらいたい。
- ・地区の世帯が少ない為（独身者もいる）、他の地区との集約により運営していく方向で考えている。下石崎全体で一地区としての活動をしていく方向で考えている。
- ・地区の発展はない様に思う。
- ・少子・高齢化に伴う人口の減少、跡継ぎの問題は避けて通れない。対策の急務。